

# 学校だより

第119号  
2020.3.13  
群馬工業高等専門学校  
(広報委員会)



## 目 次

巻頭言 夢に向かって、次のステージに! / 校長 山崎 誠 ……2

### 特集〈第54回卒業式・第24回修了式を迎えて〉

面白い世の中に / 教務主事 碓氷 久 ……2  
群馬高専を旅立っていく皆さんへ / 学生主事 櫻岡 広 ……2  
ご卒業おめでとうございます / 寮務主事 富澤 良行 ……3  
ありがとう / 後援会会長 篠原 寛子 ……3  
社会人としてスキルアップを / 同窓会会長 細谷 功 ……3  
ご卒業おめでとうございます。 / 学生会会長 3J 中島 弘翔 ……3  
各科卒業にあたり ……4  
専攻科修了にあたり ……14  
各科卒業研究一覧・専攻科特別研究一覧 ……16  
教職員からはなむけの言葉 ……22

### 退任挨拶

長い間お世話になりました / 機械工学科 嘱託教授 金子 忠夫 他 ……24

### 1日研修旅行

「鉄道の街、大宮へ」 / 3M 菅原 直弥 他 ……25

### 社会見学旅行

「三連休の次の日には気をつけろ!」 / 4M 朝戸 拓望 他 ……26

### NEWS&TOPICS

新しい1年の始まりです。 / 新学生会会長 2年4組(J) 渡辺 幸徒 ……28  
年に一度のコンサート / 3J 石関 隼人 ……28  
記録的な雪不足!でも、スノーボードを満喫! / 環境都市工学科 教授 木村 清和 ……28  
「紙」でより強い橋を! / 構造デザイン研究会 4C 岩城 奈知 ……29

4年ぶりのデザコン全国大会出場! / 3Dデザイン研究会 4M 朝戸 拓望 ……29  
英語弁論大会報告 / 一般教科(人文科学) 教授 伊藤 文彦 ……29  
マララさんと対話した日々 / 1年1組(C) 伊藤 綾香 ……29  
先輩からの直伝「企業で活躍できるエンジニアになるために」 / 物質工学科長 藤重 昌生 ……30  
技術の変わり目はチャンス / 環境都市工学科 准教授 宮里 直樹 ……30  
ストレスとうまく付き合おう! / 臨床心理士・カウンセラー 西川恵美子 ……30  
視覚と錯視の数理とその応用 / 地域連携テクノセンター副センター長 宮越 俊一 ……31  
「料理から学ぶダイバーシティ〜焼きそば料理対決〜」

／ダイバーシティ推進室長 櫻岡 広 ……31  
「新たな年号でのテクノセミナーの始動」 / 地域連携テクノセンター長 櫻井 文仁 ……31  
スマート・サイエンス・スクール(SSS) もう一つの卒業式 / 物質工学科 教授 出口 米和 ……32  
英語で専門分野の授業を聴く!! / 物質工学科 教授 太田 道也 ……32  
3Dプリンタを使ってプレス成形できるかな!を実施して / 機械工学科 教授 黒瀬 雅詞 ……32  
目に見えない小さな分子の動きをコンピュータで見よう / 機械工学科 准教授 矢口 久雄 ……32  
日本学生科学賞の受賞 / 理科部 3K 大嶋 慧 ……33  
研究発表を終えて / 理科部 3K 白崎 圭祐 ……33  
集大成 / 専攻科生産システム工学専攻 2年 新井 将典 ……33  
Happy news! / 専攻科環境工学専攻 1年 栗原 花怜 ……33  
みんなで知ってみんなで考えよう!学校賞おめでとう! / 一般教科(自然科学) 講師 清水 理佳 ……34  
「ダイヤモンドの来た道」を見て / 2年5組(K) 吉田 智味 ……34  
クイズ研究会の最初の活動報告〜エコノミクス甲子園群馬大会で第3位〜  
／2年1組(E) 坂上 文太・2年2組(E) 高橋 陽太 ……34  
「優秀ポスター賞を受賞して」 / 専攻科環境工学専攻 1年 石川 真菜 ……34  
令和元年度 学生表彰者一覧 ……35

### 特集 田村泰一先生が群馬高専に残した文字

その3 / 一般教科(人文科学) 教授 櫻岡 広 ……36

事務部新任者・離任者紹介 ……36  
編集後記 ……36

(題字・下田 功 初代校長)

## 夢に向かって、次のステージに!

校長 山崎 誠



卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。これまでお子様の成長を見守って来られた保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。また、本校の教育をご支援いただいている関係の皆

様にお礼を申し上げます。

最近新聞等の報道で、高専の名前を見聞きすることが多くなったと感じています。卒業生の活躍や高専の教育制度を評価していただいている結果と思い、力強く感じています。戦後の教育制度の中で、高専の教育は成功例の一つとして取り上げられており、世界的に見ても特色ある学校制度であると高く評価されています。“KOSEN”として国際的にも注目されており、日本型高専をアジアの国々、具体的にはタイ、モンゴル、ベトナムへの高専設立や導入支援が始まっています。

皆さんは、このような高専の一つである群馬高専で教育を受け、夢に向かって次の大きな一歩を踏み出そうとしています。企業や官庁等への職場に、大学・専攻科での

更なる学びの場に、そして研究の場である大学院に、個々に行く道は違って、全員が自分の夢を実現する出発点に立っています。

Society 5.0 という情報社会の次に来る社会を実現するには、人ともものがつながる IoT (Internet of Things)、AI (人工知能)、ビッグデータ等の基盤技術を駆使する人材が必要になります。そして、技術者として注目すべきは、生産現場で第四次産業革命というべき、Industry 4.0が進んでいることです。皆さんはこの変革期の担い手であります。難しい課題も多いでしょうが、技術者・科学者にとってはチャンスでもあり、その課題を解決するイノベーションを起こしていく機会に出会うこともできます。また、これからの開発では、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の枠組みが国際社会共通の目標として国連で設定されています。私たちは、未来に向かってこの目標も意識して歩まなければなりません。技術者・科学者の生き甲斐は、人のために仕事をする事だと思います。これから出会う課題は難しいものですが、皆さんにとっては、大胆なチャレンジができ、大きな飛躍のチャンスでもあります。群馬高専で学んだ皆さんにはその力があると私は確信しています。

皆さんの活躍と成長を祈念しています。

## 特集

## 第54回卒業式・第24回修了式を迎えて

### 面白い世の中に

教務主事 碓氷 久

卒業、修了、おめでとうございます。いつの時代でも、この先どうなっていくのか良くはわからないものなのでしょうが、この頃は特にそう言われているような気がします。それについてどう感じているのかは人それぞれだと思いますが、私は良い方向に変わっていくと思って期待しています。頑張っって長生きして、面白くなっていく世の中を自分の目で見たいと思っていますが、やはり若い皆さんには勝てないでしょう。うらやましいです。変化に対応しなければいけない、などと言われていますが、群馬高専でそういう力をつけて来た皆さんにとっては、その見せ所です。活躍していくことを考えただけでワクワクします。これからは今まで以上に、科学技術がどうなるかが世の中の仕組みに大きく影響するようになるでしょう。良い方向に変わっていくのか悪い方向に変わっていくのかは、向こうからやって来るものではなく、むしろ、皆さんが決めるものです。自分が面白いと思える世の中にしていってください。

### 群馬高専を旅立っていく皆さんへ

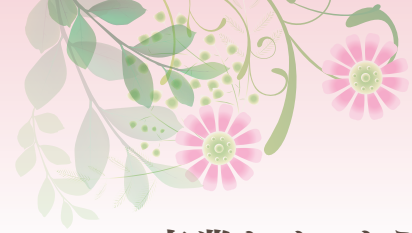
学生主事 櫻岡 広

本科5年生の皆さん・専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。皆さんが群馬高専に入学した2015年・2013年がどんな年だった調べてみると、「なんだ、ついこの間のことじゃないか」と私は思っていました。皆さんにとって、この5年・7年は長かったでしょうか?短かったでしょうか?

皆さんのほとんどは群馬高専を卒業・修了することで大きく環境が変わっていくと思います。環境の変化とともに皆さんも大きく変わっていくことでしょう。この学校で学んだことを糧に大きく成長してくれることを期待します。

さて、皆さんが卒業・修了するのと時を同じくして関西学院大学(関学) アメリカンフットボール部の鳥内秀晃監督も28年間の監督を退任しました。関学のアメフトを知らない方がほとんどでしょうが、関西の大学スポーツでは人気No.1のスポーツでありチームです。70年以上、大学日本一になることを目指しているチームです。それだけでも凄いことですが、就職率も良く「有名400社への就職率」(大学通信)が70%を超えているチームでもあります(ちなみに関学全体では30%)。それは、一朝一夕にできたことではなく、多くの卒業生が関学のアメフト部で学んだこと・悩んだこと・苦しんだことを活かして色々な方面で活躍してくれている伝統のおかげだと思います。

群馬高専の求人が多いのも、皆さんの先輩方が頑張ってきた証だと思います。これも一朝一夕でできたことではありません。皆さんもそれを守っていけるよう努力して下さい。最後に鳥内監督の著書のタイトルをまねて次の言葉を送ります。「どんな人間になんねん」。難問です。これを考え続けて下さい。



## ご卒業おめでとうございます

寮務主事 **富澤 良行**

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。保護者の方々もさぞお喜びかと思われま

す。皆さんはこれから就職先や進学先で、成人として社会に羽ばたいてゆきます。「通用するのだろうか?」、「求められる人材だろうか?」等、不安も多いことでしょう。しかし、世の中における人としての存在意義や価値は、究極的には自分自身が決めるものだと思います。意義や価値の有無や重軽は、人とのつながり、それまでの日々の努力、運なども重要ですが、最終的には自己の心の中で決めることなのです。ましてやその先にある「幸せ」も自分自身が決定する(感じる)重要事項です。卑下することなく自分自身を律して、健康を気遣い、様々の事柄への興味を失わぬように日々研鑽し「幸せ」を感じられるように、そして周りの人に「幸せ」を与えられるようになってください。

今や皆さんは、社会から見れば群馬高専で工学基礎から専門分野の学修を終え、他学校では味わえないようなバラエティに富んだ学生生活を送った価値ある人材となっています。羽ばたくための力は十分にあるのです。

## ありがとう

後援会会長 **篠原 寛子**

本科5年生、専攻科2年生のみなさん、卒業、修了おめでとうございます。保護者のみなさま、お子様の卒業、修了を心よりお祝い申し上げます。

中学校を卒業してからの5年間・7年間は長かったでしょうか?短かったでしょうか?みなさんが、感じていたように私自身も不安と希望を抱き子供たちを学校へ送り出したことを覚えています。定期試験の準備をする姿にドキドキ、ハラハラ、テスト返しの結果を聞くことが怖かったこと。部活に熱中する姿に何かに夢中になれることを羨ましく見つめていました。「遠くから見守っていたんだよ。」と言ったら、「だいふ、うるさかったけど」と言われてしまいそうですが…。

4月から新しい生活が始まります。がんばりすぎず、一步一步進みましょう。私も「段々ね」という言葉に支えられています。疲れたら戻ってきてください。みんなが待っています。

最後に、保護者のみなさま、入学から今日まで後援会活動にご理解ご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

## 社会人としてスキルアップを

同窓会会長 **細谷 功**

学科卒業生及び専攻科修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。今後、皆さんは専攻科や大学へ進む人、社会人となる人とそれぞれの道を進んでいくわけですが、今までこの高専で学んだ事は、各専門分野の基礎を勉強しただけです。これからも高専で学んだ事を基礎としてより専門的な技術や自身で不足している知識の習得に努めてください。

今後の日本は、高齢化や少子化が急速に進展し、労働者人口が減少する厳しい社会となり、終身雇用も崩壊すると言われています。その中で生き抜くためには、一人一人が付加価値の高い仕事を行い、稼ぐ能力を磨くことが大切です。そのためには、思考力、判断力、表現力を更に養うことが重要です。これからも学ぶ姿勢を忘れずに目標に向かって努力を続け、悔いのない人生が送れるよう頑張ってください。

最後に卒業生諸君の健康と今後の活躍を期待します。

## ご卒業おめでとうございます。

学生会会長 3J **中島 弘翔**

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

皆さまとのお別れがこんなに早く来るとは信じられず、時間の流れの速さと共に寂しさを感じています。

皆さまは群馬高専での生活をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。群馬高専で積み重ねた多くの思い出が走馬灯のように駆け巡っていることと思います。夢を追いかける皆さまの背中には、私たち在校生にかけがえのないものを残してくださいました。群馬高専での生活を振り返れば数多くの出来事があったかと思います。そこで得た貴重な経験を活かし、夢を追いかけ、社会へと羽ばたいていってください。

皆さまのこれからの社会でのご活躍を期待しています。



## 今後の活躍に期待

機械工学科 5年 担任 榎本 弘

機械工学科5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様には日ごろ何かとご協力頂き、有難うございました。心よりお祝い申し上げます。

皆さんが生まれたのは西暦1999～2000年とミレニウム生まれといえる世代でした。クラス別懇談会等でお会いする保護者の大多数は私よりも若い方々となっていました。高学年のクラス担任を受け持つのは4回目でした。年齢的にはベテランになりますが、私の拙いクラス運営にご理解を頂き、卒業式を迎えられたことに大変感謝しております。

この学年には2年生から科目担当教員や副担任としてかわり始め、3年生から連続して正担任を受け持ちました。3年生で正担任になった最初のホームルームだったと思います。この時点ですでに40名を下回っていましたので、“頑張ってもこの39名全員が揃って卒業しよう。”と話しました。但し残念ながら5年の4月には31名になっていました。すでに高専を去った者もおります。改めて力不足を感じました。

前回の担任の際にも当時の学生に対して「このクラスは違う」と感じる事があったのですが、担任になって早々「このクラスはもっと違う」と感じました。まず、色々な場面でリーダーシップを取れる学生が何

人もいた事です。年度の始めにはクラスの各委員を選出します。なかなか委員になるのを嫌がり、決まらないことがあったのですが、違いました。“私やりませう。”と言って手が上がり、すぐに全ての委員が決まりました。学習面においても同様です。お互いに教え合っている(一方的に教えてもらっている?)ような光景が多く見受けられました。また3年生と5年生の秋には工華祭がありました。ゲームや喫茶など工学とは無関係のクラス企画が多い中、学生が独自に企画し、全員が協力しながら準備を進め当日を迎えました。ここでもリーダーの役割は大きく、担任はあまり口出しせず、ただ見守るだけでした。クラスのまとまりを象徴する出来事でした。

この原稿を書いているのは1月末です。卒業研究の発表会では「今年の学生はよく頑張った」との講評がありました。卒業後は進学、就職と道は分かれています。高専で学んだこと、悩んだこと、経験したことが将来必ず役立つと信じております。10年後にはどこまで成長しているのでしょうか。ぜひその姿を見せてください。皆さんの今後の成長と活躍を期待しております。(その時私は…70歳が目前です。10年と言わず、もっと早く近況をお知らせください。)

保 護 者 よ り

「ありがとうございました!」

機械工学科 5年  
武藤 大和

「今年の5Mは少数精鋭、このまま1人もかけることなく卒業してほしい」、そんなことを4月に言われたような気がします。確かに今年の5Mの人数は31人、入学時に比べだいぶ減ってしまいました。そんな私たち5Mですがこの度、無事に卒業を迎えることができました(元4Mのみんな、一足先に失礼します笑)。これは学生1人1人の頑張り先生方のおかげです。大変お世話になりました。さて、高専を無事卒業する私たちですが、来年度からは新たな場所へと進んでいくこととなります。そのさきで壁にぶつかり立ち止まることもあるかもしれません。ですが高専での5年間を生き抜いた少数精鋭の私たちならたぶん大丈夫でしょう。高専での経験が何とかしてくれるはずですよ。今まで20年の人生の1/4を高専で過ごしているのだから。最後に、この5年間で多くのことを教えていただいた先生方、日々支えてくれた両親に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

TEAMとベクトルに関する考察

機械工学科 5年  
矢島風雅さんの保護者  
矢島 健二

ご卒業おめでとうございます。  
皆さんは5年間、群馬高専機械工学科というTEAMで切磋琢磨されてきたと思います。  
それぞれが、クラスや部活動のTEAMの中で経験したつらい事、楽しい事、すべてが人生の推進力となります。凝縮された5年間は何物にも代え難いものだと思います。同じ目標に向かってTEAM全員のベクトルがそろった時、目を見張る程、見事な物や成果が生まれます。そんな物と出会えたのが、工華祭5M企画の、M印良品：キーホルダと精密ゴマでした。双方ともその品質の高さに大変感銘を受け、皆さんの懸命で丁寧な仕事振りが伺えました。企画→製品の製作～完成→商品案内の作成・袋詰め→販売の過程で、5MのTEAM全員のベクトルが同じ方向へ動き、纏まり、素晴らしい物と成果へ繋がる。正にONE TEAMの前へ進むパワーの体現だと思います。  
現在のTEAMは解散しますが、各々が次の大学、会社組織の中で新たなTEAMの一員として、ステップアップして行って下さい。期待しています。  
最後に、5年間ご指導くださった先生方、学校関係者の方々、また、群馬高専を通じて出会った全ての方々により感謝申し上げます。  
考察結語：TEAMとかけてベクトルととく。その心はどちらも纏まると強い力となるでしょう。

卒業生進路一覧

※( )内は人数

進 学

- 群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (6)
- 筑波大学理工学群社会工学類
- 群馬大学理工学部機械知能システム理工学科 (2)
- 東京大学工学部物理工学科
- 東京大学工学部機械系学科(群)
- 新潟大学工学部機械システム工学プログラム
- 長岡技術科学大学工学部機械創造工学課程 (3)
- 山梨大学工学部機械工学科 (2)
- 信州大学繊維学部機械・ロボット学科
- 高崎経済大学地域政策学部
- 大阪府立大学工学類機械系学類海洋システム工学課程
- 進学希望 (2)

就 職

- FDK株式会社
- 独立行政法人国立印刷局
- サントリープロダクツ株式会社 (2)
- 本田技研工業株式会社
- ヤンマー株式会社
- 株式会社JALエンジニアリング
- 株式会社岡本工作機械製作所
- 株式会社日立ハイテクファインシステムズ





## 汎用的成長理論に基づく評価関数最大化に関して

電子メディア工学科 5年 担任 松本 敦

皆さん、ご卒業おめでとうございます。私自身は、3年間(もしくは2年間)、継続して皆さんの担任をやらせていただきました。高専に赴任して初めての正担任業務であったため、不安定な点も多数あったと思いますが、皆さんの助けを借りて、一緒に成長しつつ、本日の卒業式を迎えられたものと考えております。

皆さんにはホームルームや授業を通じて様々なことを伝えてきたと思いますが、私自身が一番伝えたいことを最後に伝えさせていただきます。

皆さんは、高専に入学してから今日に至るまでの長い時間、様々な分野の学習をしてきたわけですが、「教えられた内容が恒久的に正しいわけではない」ということを心に留めておいて下さい。もちろん、基礎になる部分の正しさが一夜にして失われることは、そうあることではないので、学習してきた内容には自信を持って下さい。一方で、研究、特に最先端の分野は、日々、新たな発見がされており、従来、最適な手法だとされていたことが、一本の論文、発表によって覆ることは決して珍しいことではありません。

世の中に新たに発せられる情報の量は年を追うご

とに増加の一途を辿っています。それらの情報の中には善意、悪意に限らず誤った情報が紛れ込んでいることも多々あるため、最新の情報の正しさについては注意深い検証が必要なのはもちろんです。とはいえ、新規の情報がなければ自分自身をアップデート、すなわち成長させることはできません。皆さんには、多少面倒でも積極的に新たな情報をインプットして、その正しさを検証し、有用な情報に関しては自分自身の新たな知識として取り入れられる柔軟な姿勢を持って生きていって欲しいと思います。現状維持では、大きな成長は見込めないことを強く認識しておいてください。

また、それと同じぐらい皆さんにお願いしたいのは、学んできた情報と新たに得た情報を組み合わせて有用な情報をアウトプットして欲しいということです。自ら情報を発信することで、さらに有用な情報、知識を得ることができます。常に情報の新陳代謝を意識して、日々の勉学、業務に励んでみて下さい。

長々と記しましたが、皆様の今後のご活躍を心より祈念しております。

保 護 者 よ り

新たな分岐点

電子メディア工学科 5年  
赤見坂 篤記

編入試験の勉強に費やした約1年、編入試験が終わり自分の時間が持てるようになって、1年生から4年生頃と比較しても、今が一番充実しているかもしれません。

高専生活5年間は長いようで短いものでした。もっと効率よく時間を使えたかもしれないのに、という後悔が多くあります。しかし、5年間という大学生になるまでの余裕から、将来について考えたり計画したりする機会を多く持てたと思います。自分は専攻科に行くことをあえて選ばなかったため、来年度からは捉え方によっては振出しに戻るようになります。しかし、高専への入学と大学への編入では、目的が自身の中で異なるため、振出しに戻ったとは思っていません。新たな分岐点として、計画的に人生を歩む目途が立ち、不安よりも希望の大きいです。

高専で学んだ経験や考え方が今の自分を作っていると思うので、今までの知識を更に向上させられるように頑張っていきたいと思っています。5年間という長いようで短かった期間ですが、本当にありがとうございました。

道しるべ

電子メディア工学科 5年  
齋藤環希さんの保護者  
齋藤 尚哉

5年前、かつて自らが卒業した群馬高専の門を娘が潜ることになりました。校風に馴染めるのか心配したのですが、親の心配とは裏腹に、良き仲間、親身にご指導いただいた教職員の皆さまに支えられ、専門性の高い講義や実験、部活動や語学研修など、充実した学生生活を歩めたことを嬉しく思っております。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

高専生活は満喫できましたか？

思い残すことや、後悔もあるかも知れませんが、ここで得た知識や経験、抱いた夢や不安、人との出会い、その全てが財産であり、進路先、社会に出てからの道しるべになるのです。群馬高専で過ごした日々を誇りに、また学生生活に携わっていただいた方々への感謝を胸に、志す道を進んで欲しいと思います。平坦な道、起伏に富んだ道、向かい風が吹くこともあるでしょう。正解はないのです。

大切なのは自分で選んだ道であることです。

進路先での活躍を応援しております。

卒業生進路一覧

※( )内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (12)  
室蘭工業大学工学部情報電子工学系学科電気電子工学コース  
東北大学工学部電気情報物理工学科応用物理学コース  
茨城大学工学部電気電子システム工学科  
群馬大学理工学部電子情報理工学科電気電子コース (2)  
金沢大学理工学域数物科学類数学コース  
名古屋大学情報学部コンピュータ科学科  
名古屋工業大学工学部物理工学科応用物理分野  
岡山大学理学部物理学科  
九州工業大学工学部電気電子工学科電子システム工学コース  
進学希望

就 職

日本IBMテクニカルソリューション株式会社 (2)  
株式会社NTT東日本-関信越  
株式会社NTT東日本-南関東  
キヤノン株式会社  
日本貨物鉄道株式会社(JR貨物)  
株式会社ビーネックスソリューションズ  
三益半導体工業株式会社  
株式会社明電舎  
株式会社吉野工業所





## ベストをつくして

電子情報工学科 5年 担任 荒川 達也

このクラスの担任は、4年5年と受け持たせていただきました。あっという間の2年間だったようですが、しかし振り返ってみると、やはりいろいろなことがありました。4年のはじめのころの個人面談（副担任の鶴見先生と一緒に）からはじまって、宮川先生と一緒に引率した社会見学旅行や工華祭、進路三者面談など、さまざまなイベントが思い起こされますが、一番印象に残っているのは5年生のはじめに行った卒業研究の配属調整です。

おそらくたいして揉めることもなく、スムーズに決まるだろうという私の予想はみごとにはずれ、多くの学生が希望の研究室を強く主張して譲らず、調整がかなり難航することになりました。何とか説得しようと試みたのですが、みんな意志が固くて希望を変えようとせず、正直、どうしてそこまで固執するのだろうと理解に苦しんだほどでした。

ところがー

この原稿は1月24日の卒研本発表の後で書いているのですが、全員の講演を聴講して、今、みなさんがあれだけ強く主張した理由が分かったように感じています。

研究の完成度もさることながら、本当に真剣に研究に取り組む、1年間ベストを尽くしてきたのだということが伝わってくる発表ばかりでした。自分の進む道を自分で選ぶこと、自分の意思で決めること、そして初志を貫徹することの大切さを、改めて実感することのできる、すばらしい発表会でした。担任としてみなさんの真摯な努力に敬意を表するとともに、みなさんも是非、これまでみなさんを指導して下さった先生方、そして支えて下さったご家族に、改めて感謝の気持ちをもって欲しいと思います。

さて、1年間の、というより高専生活の集大成の卒業研究発表会も無事に終わり、あとは卒業式を待つばかりーと、言いたいところですが、もうひとつ越えなければならないハードルが残っていました。私もこれから無い知恵を絞り、みなさんを見習ってベストをつくして、大きく成長したみなさんにふさわしい最後の関門を用意しようと思います。私の担当は選択科目ですが、ひとつも落とせない人も結構いますし、また、もちろん私の担当科目に限らず、どの科目も良い成績で最後の定期試験を飾ってくれることを期待しています。



保護者より

「学ぶ」を学ぶ

電子情報工学科 5年  
田中 大樹

高専での5年間はあっという間でした。入学した当時のことが、つい先日のことのように感じられます。

この5年間ではたくさんのことを学び、たくさんのことが変わっていきました。

その中でも「学ぶ」ということについての認識が大きく変化しました。

入学したての頃は、今までと同じような勉強法ではまったく歯が立たず、テストの度に返された凄惨な結果で意気消沈していました。「何故ここまで出来ないのだろう」と本気で自分の力の無さを嘆き、すべてを投げ出したときもありました。この状況を打破するために、クラスの中で勉強が優秀な子を観察させてもらおうと、その子は授業の時間外にも自分でキッチリと詰めていて、他の人に教えられるほど「理解」していました。学ぶときには受身ではダメ、人に説明できるほど理解しているのか、と今まで甘えていた自分の「学ぶ」という姿勢に喝が入った感じがしました。それからは、漫画のような話ですが成績は右肩上がりになっていき、「認識を改めるだけでここまで変わるのか」と自分が一番驚いていました。

このような認識を改められる環境に身を置けたことは、とてもいい経験になりました。これからも「学ぶ」という意味を大切にしていきたいと思います。

感謝を忘れないで!

電子情報工学科 5年  
生方亮壮さんの保護者  
生方 美恵

ゲームが大好きな息子が『俺はゲームを作る人になる!』と入学したのですが早々にして『ゲームをやる側だった』と挫折を告げられました。単純な動作も、プログラミングがとても大変な事を学んだそうです。ちゃんと進級出来るか心配でしたが、卒業を迎える事が出来て良かったです。

学校に送り出すまでは親の責任、学校に行ってから自分の責任でね、と言ってきましたが、実際は沢山の人の助けられてきました。パンクした自転車を心配し、財布を失くせば一緒に探し、遅くまで学校に残れば送ってくれる友人達。クラスTシャツはペンギン柄になると分かってて、3回もデザインさせて貰えました。様々な話を聞かたび感謝し有り難く思っていました。勿論、これまでご指導して下さいました諸先生方達にも感謝しかありません。これからも多くを学び、自立し自分らしい人生を歩んでもらいたいです。卒業生の保護者の皆様も同じ思いでいる事と思います。

とは言え、毎朝、『ちゃんと起きて学校にいきなさい! ご飯も食べて行くだよー』と、叫び続けた日々が終るなんて、寂しいです。やっと独り暮らしが出来ると、喜ぶ息子とは対称的です。

卒業生進路一覧

※( )内は人数

進 学

- 群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (6)
- 秋田大学数理・電気電子情報学科人間情報工学コース
- 宇都宮大学工学部情報工学科
- 群馬大学理工学部電子情報理工学科情報科学コース (3)
- 東京農工大学工学部情報工学科
- 長岡技術科学大学工学部電気電子情報工学課程
- 山梨大学工学部コンピュータ理工学科 (2)
- 高知大学理工学部情報科学科
- 進学希望 (2)

就 職

- CTCシステムマネジメント株式会社
- NTT東日本グループ会社<エンジニア>
- コベルコソフトサービス株式会社

- サントリーグループ
- 株式会社Aiming
- 株式会社AXSEED
- 株式会社JR東日本情報システム
- 株式会社オリジナルソフト
- 株式会社ドコモCS
- 株式会社ナカヨ
- 株式会社ファインテックス
- 株式会社ワイズ
- 株式会社小松製作所
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- 電源開発株式会社
- 日本アイビームテクニカル・ソリューション株式会社 (2)





## 卒業おめでとうございます

物質工学科 5年 担任 平 靖之

卒業する皆さんと同じ年齢の頃の私は、大学2年の教養課程を終えたところです。ようやく学科に所属され、化学に関する勉強を始めたくらいの時期です。それまで座学による学習がほとんどで、実験などともに経験したことはありませんでした。そんな私と比較すると、一通りの学生実験を経験し、卒業研究までこなしている皆さんは、かなり早い段階から専門的な学習をしていることとなります。他の進路をたどってきた同じ年齢の人達に比べて、2歩も3歩もリードしていると言って良いでしょう。そのことは貴重な経験であり、皆さんは自信と誇りをもってこれからの進路を歩んでいって欲しいと思います。

その一方で、「高専を卒業したから、自分は十分な知識と経験を持った、その分野の専門家だ」等と思わないようにしましょう。常に勉強をし続けて下さい。これからがスタートです。就職先や進学先で、自分の未熟さに気がつくことがあると思います。そのときに、自分を恥じる必要はありません。自分の未熟さに気がつくことができるのは、あなたが成長している証拠です。私の場合、大学院の修士課程を修了する頃には、

自分が何かを知っているように錯覚していました。しかしながら、博士課程を修了した頃には、「自分は一切何も分かっていないのに大丈夫か?」という心境でした。自信を喪失してしまったわけではなく、自分の中で「分かった」とする合格基準点が高くなったということです。ここで言う勉強や学習とは、単に化学や生物といった科目の座学の内容に限りません。積極的にあなたの武器となるような能力を身につけて、伸ばして下さい。

ひょっとしたら、あなたは反射的に、こう聞いてくるかもしれません。「先生、これから求められる能力を教えてください」。ここポイントだと思います。すぐに短絡的な正解を求めないこと。時代の流れは速いですし、多様化が進んでいます。問題を自分で考えて、自分で決められる能力がまずは必要なんじゃないかな、と思います。正解は一つに限りません。もちろん、困ったり迷ったり分からなくなってしまうたら、相談に乗ります。卒業後も、いつでも訪ねてきて下さい。それが教員の楽しみです。改めて卒業おめでとうございます。

保護者より

「3月9日」

物質工学科 5年  
阿久澤 智也

流れる季節の真ん中でつい先日、高校入試が終わった  
とっていたら、あっという間に高校生の歳を超え、進  
路選択を行い、成人し卒業の時を迎えようとしています。  
今回、物質工学科卒業生の1人としてこの原稿を書かせ  
て頂いておりますが、5年前の新生生の紹介も私が原稿  
を担当させて頂きました。5年前の私は将来に希望を膨  
らませ、学問に身を捧げる覚悟で新しい学び舎の門を叩  
いた旨を綴りましたが、その期待に今現在の私が応えら  
れているかというかなり怪しさがあります。しかしあ  
の時の選択は間違っていなかったと胸を張ることはでき  
ると思います。思いたいです。この5年間曲りなりに環  
境に身を任せ、優秀な先生方や友人にも恵まれることが  
できました。様々な価値観や経歴、そして技能を持った  
優秀な人たちと関わる中で胃腸がねじ切れそうになり眠  
れない夜も多くありましたが自分は自分なりに生きてい  
こうと確信できたことが最大の学びです。そして様々な  
機会や交流を与えてくれた全ての人に感謝しています。  
(卒業式は3月19日です)。

後進の光となれ!

物質工学科 5年  
新井千媛さんの保護者  
新井 玲子

この度はご卒業おめでとうございます。  
この佳き日を迎えられること、心より嬉しく思っており  
ます。  
思えば娘と高専の出会いの中3のなかなか決まらない志  
望校選びの時でした。自分に合った進路を未だ見だせず  
にいた秋も深まる頃、高専の学校説明会を知り、すぐる思  
いで親子共々参加しました。化学が好きだった娘は、K科  
の実験に目を輝かせて参加し、進路を見出だすことがで  
きたのです。  
学校説明会での先輩学生の方々の学問に対する楽しそ  
うな様子を見て、娘も高専での勉学の道を目指しました。  
親である私から見ても、学生の皆さんの生き生きとし  
た様子は娘に入学してほしいと思えるものでした。  
そんな高専での5年間は決して楽しいことばかりではな  
かったと思いますが、どこにいても恥ずかしくない実力  
はついたのではないのでしょうか?5年間、高専で培った皆  
さんの力は後輩の希望、目標になるはずです。かつて皆  
さんが先輩方を目標としていたように。そして卒業後はそれ  
ぞれの目標に向かって更なる努力を惜しまないで下さい。  
それが後進への光となるのですから。  
末文ではございますが、ご指導いただきました諸先生方、  
職員の皆様に心より御礼申し上げます。

卒業生進路一覧

※( )内は人数

進 学

- 群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (12)
- 室蘭工業大学工学部応用理化学系学科 (2)
- 東北大学工学部化学・バイオ工学科
- 群馬大学理工学部化学・生物化学科
- 東京工業大学物質理工学院材料系
- 新潟大学工学部工学科材料科学プログラム
- 長岡技術科学大学工学部物質材料工学課程 (6)
- 長岡技術科学大学工学部生物機能工学課程 (5)
- 信州大学繊維学部化学・材料学科
- 豊橋技術科学大学工学部応用化学・生命工学
- 京都大学工学部工業化学科

就 職

- 株式会社アイング
- FDK株式会社
- 関東電化工業株式会社
- 協和キリン株式会社
- 信越化学工業株式会社
- 第一三共ケミカルファーマ株式会社
- DIC株式会社
- 日清紡ブレーキ株式会社
- 日東電工株式会社
- 株式会社フルヤ金属
- 三益半導体工業株式会社 (2)





## 5Cのみなさん、人生をたのしもう

環境都市工学科 5年 担任 先村 律雄

5Cのみなさん、卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様におかれましては格別の思いで今日を迎えられたことと思います。本日のお子様の門出を心よりお祝い申し上げますとともに、クラスの運営についてご理解とご協力を賜りましたことに感謝いたします。5Cのみなさんは、是非、感謝の気持ちをご家族に伝えるようお願いいたします。

自身を振り返ってみると、みなさんが2年次のときに群馬高専に着任し、その1年後から担任となりました。当初は、みなさんとの距離間がわからず、意思疎通の点で歯がゆい思いをさせたような気がします。それでも卒業を迎えることができたのは、みなさんをはじめ、ご家族の方々、関係者各位のおかげとあらためて感謝いたします。ありがとうございました。

タイトルの“人生をたのしもう”ですが、みなさんは、そんな簡単な事と思われるでしょう。たしかに遊園地で楽しむことは簡単かもしれません。しかし、みなさんの置かれた状況が最悪のとき、その状況をたのしみながら前進することはそう簡単ではありません。

数十年前の自身の卒業式のとき、老教授が“結局、人生は勉強を続けることが大事です”のような事を言われたことを思い出します。そのときは、“卒業したのにまだ勉強、何で!!”と思いました。今改めて周りを見渡すと、勉強を続けている人は、人生をたのしんでいる人が多いように思います。勉強を仕事・義務として続けてもたのしくありません。好きな道の発見、面白いと思うことを追求すると、早くその先が見たくなり、苦勞が苦勞でなく、勉強が苦痛でなくなり、どのような状況下でもたのしむことができるようになります。そのような人を見ると、“この人には勝てない”と思います。不思議とそのような人の周囲には、成功をお互いに導くような人達が集まります。

みなさんは、これからいろいろな出来事が待っています。辛い出来事の場合、それを乗り越える実力をつけるしかありません。結局、勉強です。逃げずに乗り越え、人生を楽しめる境地になりましょう。みなさんの成長した姿を見るのがたのしみです。よい人生を!

保護者より

C科の元気な仲間たち

環境都市工学科 5年  
池本 敦哉

高専生としての5年間は、長いようで短いものでした。入学したあの頃は懐かしく感じますが、「あと2年半もあるのかよ…」と嘆いていた3年生のあの頃は、昨日のことのように思います。

C科の元気な仲間たちとは、3年生からクラスメートとして過ごしてきました。体育が終わるたびに何人かでじゃんけんをして、ジュースを買わせあっていた悪い仲間たちとしばらく顔を合わせなくてよいと考えると、気持ちが良いです。一方、テストの度に夜遅くまで教室に残り、「ああでもない、こうでもない」と言い合っていたのがもうできなくなると思うと、ちょっと寂しい気もします。

春からは、自分の選んだ場所で、自分の道を進みます。新しい環境でも、いい意味で、仲間たちは変わらないのだろうなあと思います。帰省したときの話が楽しみです。

結びになりますが、5年間指導していただきました教職員の皆様、保護者の皆様、C科の元気な仲間たちに心より感謝申し上げます。

『出会い…そして感謝』

環境都市工学科 5年  
下平英莉さんの保護者  
下平 珠美

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

長い高専生活を終えようとしている君達！

苦楽を共にした仲間と別れ、春からはそれぞれ違う道を歩む君達！

胸を張って堂々と生きてください。

自主性を重んじる校風の中、専門技術を学べる恵まれた環境での5年間は一般生とは違う努力が必要だったと思います。

今だから言えますが、自由奔放な娘も何度涙を流したとか…。

夜遅くまで娘の質問に答えてくれた仲間。レポート提出期限に間に合うよう考えを共有した仲間。デザコンの大会直前まで橋を一緒に何度も作り直した仲間。

かけがえのない君達との出会いが娘を成長させてくれました。

高専で出会えた仲間は一生の宝です。これからの人生、困難に立ち向かう時、出会えた仲間が支えとなるでしょう。そして、周りの方々の支えがあるから今の自分がある事を忘れないでください。

最後に、子供達を御指導くださった諸先生方、心より感謝申し上げます。

卒業生進路一覧

※( )内は人数

進 学

- 群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (6)
- 北海道大学工学部環境社会工学科
- 東北大学工学部社会環境工学科
- 宇都宮大学社会基盤デザイン学科
- 千葉大学工学部都市環境システムコース
- 新潟大学理学部理学科自然環境科学
- 新潟大学工学部社会基盤工学コース (2)
- 長岡技術科学大学環境社会基盤工学課程 (9)
- 金沢大学地球社会基盤学類環境都市コース (2)
- 岐阜大学工学部防災コース
- 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 (4)
- 徳島大学理工学部社会基盤デザインコース

就 職

- 東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)
- 大成建設株式会社
- 五洋建設株式会社
- 国土交通省関東地方整備局
- 株式会社イト日本技術開発
- 東急電鉄株式会社
- 西武鉄道株式会社
- エスビック株式会社
- 独立行政法人水資源機構
- 群馬県庁





## 専攻科修了生の前途を祝して!

専攻科長 太田 道也

修了生諸君、専攻科修了おめでとうございます!

また、ご家族の皆様方におかれましても長い7年間であったと思います。暖かく、時には忍耐強く専攻科教育にご理解とご協力ならびにご支援頂きましたことに感謝申し上げますとともに心よりお祝い申し上げます。

さて、修了生諸君、この2年間は如何でしたか。これでもかというくらい勉強と研究に勤しまれましたか。研究に没頭しすぎて気がついたら、また、授業の課題をグループで討論していたら外がいつの間にか暗くなっていたという経験があったと思います。「一つのテーマに対して、文献を読み漁り、オリジナルな実験をする」、こんなことに純粹に取り組めるのも学生時代ならではの経験。この経験を未来に向けてぜひ活かして下さい。一方、専攻科は本科と異なり少人数制ですので紐帯な友人関係を気づくことができたと思います。就職される方や大学院に進学される方も、今後は個人の能力も重要ですが、人間関係はもっと重要になります。仕事には潮流が

あり、個人に限らずこの潮流に乗ることが大切になってきます。一度乗ると、仕事はハードになりますが世の中のつながりがうっすらと見えてくるばかりか環境も変わると言われています。この潮流に乗るチャンスを掴むこととその持続にも人との関係が大きく影響する場合があります。例えば、オリンピックが近づき、我々も耳にする身近な話題ですが、トップアスリートには頂点を持続するにあたって必ず有能なサポート集団がいますし話題になりますね。困ったとき、独りで葛藤しても良いアイデアが浮かばないとき、身近にいる人がきっと発想の転換をもたらしてくれるでしょう。専攻科で培った友人関係、これから出会うであろう人との繋がりを大切にして、未来に向けて活躍されることを期待します。また、皆さんの先輩方が加入している本校同窓会や群馬高専も皆さんの活躍を応援していますよ。

諸君、前進あるのみ!!修了おめでとう!!!

保 護 者 よ り

## 少年易老學難成

環境工学専攻 2年  
井上 卓磨

本稿を執筆するにあたり、中学2年のときに、友人に連れられ群馬高専へ上級学校訪問したときのことが思い出されました。

当時の自分の目には、工学を学ぶことの魅力について自信をもって語る先輩方の姿が輝いて見え、いつかあの先輩のようになりたいと思い、高専への進学を決めました。

それから9年、その先輩がいた研究室の中には後輩からの質問に受け答えする自分の姿がありました。高専での7年間、幾度も頭を悩ませるときがありましたが、自分の拙い説明を真剣な面持ちで聞く後輩を見て、あのときの自分の決断は間違っていなかったと実感しました。

素晴らしい友人、ユニークでありながら尊敬すべき先生、多くの方々のおかげで、専攻科での2年間は実り多いものとなり、ここには書ききれないほどたくさんの貴重な経験を積むことができました。

少年易老學難成というように、学びの道は奥深く、これで終わりということはありませんが、『工業日本のパイオニヤ』に一歩でも近づけるよう、真摯な態度で次のステージへ進んでいきたいと思えます。

## 「未来へ」

生産システム工学専攻 2年  
笠原 俊さんの保護者  
笠原 麻理

専攻科修了を迎える皆さん、ご卒業おめでとうございます。7年間は皆さんにとって長かったですか？それともあっという間だったのでしょうか？

この7年間、課題やレポート、試験に卒業研究等日々大変な思いをして過ごしてきた事と思います。でもそんな忙しい中でも部活や気の合う仲間と過ごした時間はかけがえないものになっていることでしょう。高専だったからこそ経験できたこと、知り合えた仲間など、たくさんあると思います。

皆さんが7年間かけて培ってきた知識や技術は何事にも代え難いものだと思います。その力をこれから皆さんがそれぞれ進む道で十二分に発揮し、活躍してください。皆さんの力が未来を作り上げていくと期待しています。

最後になりましたが、今までご指導してくださった校長先生はじめ諸先生方、職員の方々、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## 修了生進路一覽

※( )内は人数

### 進 学

東北大学大学院工学研究科機械系4専攻 (ファインメカニクス専攻)  
東北大学大学院工学研究科土木工学専攻  
東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻  
群馬大学大学院理工学府理工学専攻  
東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻  
東京工業大学大学院工學院電気電子系 (2)  
東京工業大学大学院工學院機械系 (2)  
東京工業大学大学院物質理工学院材料系 (2)  
東京工業大学大学院物質理工学院応用化学系  
電気通信大学大学院情報理工学研究科機械知能システム学専攻  
横浜国立大学大学院都市イノベーション学府都市地域社会専攻  
長岡技術科学大学大学院工学研究科環境社会基盤工学専攻

### 就 職

システム開発株式会社  
東亜工業株式会社  
株式会社古川製作所  
三菱電機プラントエンジニアリング株式会社  
株式会社安川電機  
DIC株式会社  
株式会社日放電子  
中外製薬工業株式会社  
株式会社三井化学分析センター



学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
荒 木 遥 大	翼型に対するプラズマアキュエータの応用に関する検討	矢口(久)
入 澤 宏 太 朗	多足歩行ロボットの歩容生成に関する基礎研究	重 松
宇佐美 岳 竜	ワニ型溶接パイプ研磨装置の試作研究	重 松
生 方 大 翔	リンパ管内流れの理論解析	矢口(久)
大 谷 壘 斗	金属 3D プリンタを活用した教育用射出成形簡易金型の試作研究	黒 瀬
小 倉 魁 一	温室ハウス換気窓の開閉システムの開発	檜 本
小野塚 隆 太	極軌道における超小型衛星の地磁気を用いた姿勢角検出手法	平 社
角 田 空 良	難燃性粉体の添加による爆発への影響	花 井
加 藤 拓 航	軽自動車の過去の販売データに基づく需要予測モデルの研究	櫻 井
金 井 大 樹	エンドミル加工における加工履歴を考慮した切削条件の評価	黒 瀬
菊 池 啓 亮	コイルを横配置させたデュアルリアクションホイールによる超小型衛星の姿勢制御	平 社
小 池 永 遠	人型双腕ロボットを用いたピンピッキングに関する研究	小 川
坂 本 大 樹	実証実験に向けたハウス内の温湿度測定用子機の開発	檜 本
嶋 村 健	紐巻付方式把持装置の改良	重 松
清 水 翔 也	実験計画法による最適切削条件の決定と評価	櫻 井
菅 原 達 弥	超小型衛星搭載用大型ダイポールアンテナ展開機構の実用化に向けた実験的研究	平 社
菅 原 奈 々 子	セミドライ加工によるボールエンドミル傾斜加工の研究	櫻 井
須 田 陸 斗	防腐剤を注入した杉材の材料強度に及ぼす加圧注入法の影響	黒 瀬
関 根 豊	腱型索状能動体のアドミッタンス制御に関する研究	重 松
手 嶋 勇 太	ソーラー EV における走行計画の最適化に関する研究	平 間
鳥 山 敦	擬似的な同時5軸加工に関する研究	金 子
永 田 千 波	Sn-Bi 合金の変形挙動に及ぼす Sb 濃度の影響	山 内
中 原 隆 汰	動力伝達用はすば歯車の回転方向振動に及ぼす歯面修整の効果	小 川
平 田 共 生	溶接治具の製作における加工効率化の検討	櫻 井
深 谷 尚 幸	3D プリンタ製冷却配管を有する CFRTP プレス型の冷却効果	黒 瀬
藤 井 一 稀	動力伝達用はすば歯車の伝達効率に関する研究	小 川
堀 川 尚 希	衝撃加振中のボルトの締結力の変化に関する研究	檜 本
松 下 和 人	乱流場における粉じん爆発の爆発強度特性	花 井
武 藤 大 和	広角カメラによる月捕捉を用いた超小型衛星の姿勢角検出システム	平 社
矢 島 風 雅	温室ハウス内の温湿度遠隔測定と管理のための長距離通信システムの開発	檜 本
湯 浅 秀 太 郎	テーパ管内流れの理論解析における非定常流への拡張	矢口(久)



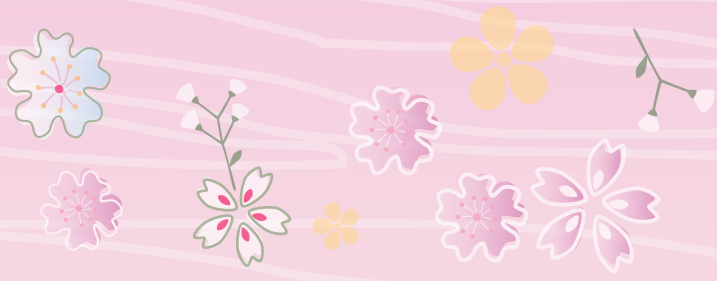
学生氏名	卒業研究題目	担当教員
赤見坂 篤 記	網膜・視覚情報処理と畳み込みニューラルネットワーク	谷 中
秋 間 祥 伍	MIPS 用シミュレーションコード生成コンパイラの実装	松 本
石 川 侑 祈	Raspberry Pi を用いたリアルタイム食品検出に関する研究	松 本
稲 山 諒 太	多項式版フェルマー定理について	谷 口
今 井 龍 海	コンクリートレーダ用アプリケーションの開発	富 澤
岩 井 藍	太陽電池のエネルギー変換効率に関する基礎研究	中 山
大河原 礼 王	コンクリートレーダ用パルス発生器の検討と開発	富 澤
小 野 柊 映	LED 水耕栽培における環境発電及び可視光通信を用いたデータ収集方法の研究	佐々木
梶 原 豪	位相同期複数出力発振器の製作	五十嵐
栗 原 里 和	強磁場下2次元電子系の電流・電場分布	平 井
栗 原 律 樹	卓球のスコアボードアプリの開発	谷 中
小 池 陸 生	相対論的運動における時間の遅れの考察	宇治野・高橋
小 島 悠 生	二セレン化ニオブの電子状態に関する研究	塚 原
齋 藤 環 希	Siri 音声と人声の差異	鈴木(靖)
塩 野 敦 洋	魚群行動の解析	宇治野・高橋
関 嗣之介	多項式 abc 定理について	谷 口
田 島 俊 也	量子情報における連続量の取り扱い	大 嶋
南 雲 勇 人	RFアンプ素子を併用したフィルタの検討	五十嵐
西 村 達 哉	時間割作成アプリの開発	布施川
原 凌 太	日本語における母音の特性	鈴木(靖)
原 澤 瑞 樹	非同期式マイクロコントローラの FPGA による動作検証	松 本
古 崎 翔 大	イベント申込フォームおよび参加者管理アプリの開発	布施川
本 多 飛 鳥	共鳴による吸音効果の測定	鈴木(靖)
前 澤 一 舜	位置情報を利用したリマインダーの開発	布施川
町 田 翔	LED 水耕栽培における環境発電及び可視光通信を用いたデータ収集方法の研究	佐々木
三 木 雄 太	空撮画像処理によるロボット位置推定及び制御に関する研究	佐々木
宮 内 礼 那	二セレン化ニオブの電子状態に関する研究	塚 原
諸 田 隆 史	残響時間の測定と残響付加音の作成	鈴木(靖)
石 村 飛 翔	強磁場下2次元電子系の電流・電場分布	平 井
加 藤 勇 樹	Raspberry Pi によるネットラジオのハードウェア化	谷 中
高 橋 佳 大	RSA 暗号と署名理論	谷 口
米 澤 蒼 平	太陽電池モジュールの経年劣化による影響	中 山
渡 辺 崇 寛	Raspberry Pi によるネットラジオのハードウェア化	谷 中

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
荒井 智貴	デジタル通信システムにおける高効率・高出力電力増幅器の特性評価	石田
岩崎 拓真	物体検出と正対表示による気付きやすさを考慮した電子広告向けシステム	渡邊(俊)
生方 亮壮	モーフィング音声の主観年齢予測	川本
大木 健瑠	ライブコーディングのパフォーマンス支援とトレーニングのためのコード提案システム	荒川
大屋 敦士	仮想結び目のガウス関数と分割数について	清水
尾林 侑亮	音楽ゲーム初中級者向け運指カラーガイドの提案	荒川
加藤 進吾	AR および物体検出を用いた模様替えシステムの開発	崔
栗原 稜太	VR におけるクロスモーダル現象を用いた感覚の評価	崔
小芦 弘汰	お見合い問題と仮想組みひもについて	清水
小林 夏美	音声モーフィングを用いた話者性の混合に関する検討	川本
齋藤 駿太	結び目の軸1本問題について	清水
齋藤 太陽	結び目のジョーンズ多項式と彩色数について	清水
田島 雅斗	デジタル通信システムにおけるデジタル変調歪みの解析	石田
須山 健一	カラー画像と距離画像を利用した多人数同時視線推定	川本
篠崎 暁登	AR および物体検出を用いた模様替えシステムの開発	崔
住谷 駿	AR を用いた電磁気学の学習支援システムの提案	崔
高橋 響熙	ROS 用 SLAM ノードの作成	市村
高橋 凜野	空間グラフの領域結び目解消数について	清水
田中 大樹	デジタル通信システムにおける高効率・高出力電力増幅器の特性評価	石田
都筑 律玖	LoRa を用いた RTK-GNNS システムの構築	市村
角田 陽祐	NMF を用いた特定話者音素アライメントにおける前処理の検討	川本
寺澤 竜磨	原始星形成における星間磁場の役割	宇治野・高橋
戸塚 真大	ひずみ和が4の結び目について	清水
長沼 佑平	既存の1点式体表点字応用システムの評価実験	大墳
中野 智也	HMD を用いた電子書籍閲覧手法の提案	崔
濱田 健太郎	特殊相対論に基づく光行差とその可視化	宇治野・高橋
藤田 圭	キャラクター音声における知覚的話者空間の検討	川本
細山田 和	VR におけるクロスモーダル現象を用いた感覚の評価	崔
堀井 萌希	物体検出と正対表示による気付きやすさを考慮した電子広告向けシステム	渡邊(俊)
宮前 美紅	猫の気持ちを可視化するアプリケーション実現方法の検討	荒川
茂木 亮佑	SR を用いた新規映像体験手法の検討	渡邊(俊)
成川 加維	VR を用いた空間デザイン支援システムの構築	荒川
細谷 日那向	大規模論理回路開発システムの改良ーホスト PC 間通信の高速化ー	木村(真)
五十嵐 紫苑	構文解析を導入したモンゴル語-日本語変換機能の改良	大平
久保田 拓朗	シリアルサーボを用いる2輪ロボットの試作	市村

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
青木 帆乃花		大和田
阿久澤 智也		齋藤
浅香 万里		大岡
新井 千媛		平
安藤 凱		友坂
井坂 美空		藤重
石山 裕理		平
小野寺 美和		出口
小淵 晴仁		宮越
角田 真一		辻
上遠野 佑紀		工藤(ま)
川合 祥紀		藤野
公家 玲亜		太田(道)
黒岩 柁哉		友坂
上月 一輝		工藤(翔)
小林 波留加		齋藤
小林 愛実		藤重
笹川 耕作		大和田
佐藤 朋貴		藤野
篠原 愛		太田(道)
清水 魁士		大和田
関口 琴弓	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産の観点から非公開とさせていただきます。	出口
木村 一輝		工藤(翔)
高橋 颯		太田(道)
千明 知広		工藤(翔)
戸矢 柁		藤野
中嶋 啓太		工藤(ま)
中島 凜		工藤(ま)
西田 まなみ		友坂
根岸 諒		藤重
福嶋 望夏		平
藤本 健志		中島
安藤 若菜		平
松井 達也		藤野
安井 晃美		太田(道)
横山 青南		大岡
渡邊 武海		大岡
渡邊 千尋		出口
天田 知宏		友坂
高橋 紘平		中島
依田 悠希		大岡
長井 聡道		中島
アウレリア ジャイルン		中島
スッティ ウォンラット アティテップ		藤重

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
阿久戸 太陽	底泥による発電可能性について	谷村
新井 拓朗	VR実験による二段階横断施設の交通島形状が歩行者心理に及ぼす影響分析	鈴木(一)
池本 敦哉	横断構造物に捕捉される溶岩流の挙動に関する実験的研究	永野
石川 裕唯	デジタルカメラを用いた3Dモデルの精度検証に関する研究	木村(清)・先村
稲垣 亮	音響ハイディング技術を用いた UAV による防災情報伝達システムの検討	木村(清)
上野 和輝	粕川の河川水質と水生生物を用いた河川環境評価	宮里
内田 匠	応答スペクトル適合地震動の位相特性と構造物の非線形応答に関する研究	井上
大熊 和樹	継続時間の長い地震動を対象とした地盤応答解析	森田
大谷 章太	撥水剤によるコンクリートの耐久性能評価に関する研究	田中
川合 厚志	継続時間の長い地震動を対象とした地盤応答解析	森田
久保田 直生	デジタルカメラを用いた3Dモデルの精度検証に関する研究	木村(清)・先村
栗田 慶吾	注入形状がアンカー材の付着特性に与える影響について	田中
小林 彦蔵	無限遠一様荷重下の楕円孔を有する異方性弾性体の応力・変位解析	木村(清)
小屋 夏南	GCS-2Dモデル"NK-β"の開発と正観寺川への適用について	永野
小山 寛貴	生活排水処理施設における電解消毒の適用検討	堀尾
昆野 凌磨	通電による泥水中の有機物除去に関する研究	谷村
齋藤 湊太	強震動の観測記録に基づく周期特性を考慮した2方向地震動の方向性の分析	井上
佐藤 友紀	活性酸素種を用いた化学的酸素供給法による水処理システムへの適用検討	堀尾
下平 英莉	各種アスファルト混合物における疲労き裂伝播特性の評価	木村(清)
鈴木 稜也	硫黄カルシウムと鉄資材併用法による浄化槽処理水の窒素、りん除去効果の検討	堀尾
土屋 直樹	未利用廃棄物を用いた落葉の期間短縮型減量化方法の提案	青井・宮里
登坂 成葉	簡易カメラによる写真測量	先村
富澤 茉那	生活道路における道路構造要素が歩行者の安心感に与える影響の分析	鈴木(一)
中島 猛生	安中榛名駅前ラウンドアバウトにおける車両挙動の実態分析	鈴木(一)
成澤 董	公共座標を使用した3Dモデルの合成	先村
原田 怜央菜	高専下水を用いた回転円盤処理装置による処理性能	青井・宮里
春山 和輝	硫黄カルシウムと鉄資材併用法による浄化槽処理水の窒素、りん除去効果の検討	堀尾
福井 功志朗	バサルト繊維を用いたハイブリッド水処理システムの検討	堀尾
藤井 健太	単路部無信号横断歩道におけるドライバーの譲り挙動に関する分析	鈴木(一)
堀 蓮	自動運転バスの混在が信号交差点の交通流に及ぼす影響評価	鈴木(一)
堀越 晟冶	通電における藻類増殖促進効果について	谷村
丸山 ほの花	連作障害防止に向けた土壌改良資材造粒方法の検討	青井・宮里
茂木 駿介	群馬県内における古墳の立地状況と水害リスクとの関係について	永野
森下 幸彦	アニメーション付き3Dモデルの作成	先村
森田 悠聖	通電による窒素への影響	谷村
柳沼 謙伸	通電した水における殺藻効果の持続性について	谷村
山之内 克伎	注入形状がアンカー材の付着特性に与える影響について	田中
都丸 愛理	撥水剤によるコンクリートの耐久性能評価に関する研究	田中
原 幸也	ケイ酸による活性汚泥中の排水処理微生物への影響	宮里
ヌルアティカー・シャリナ ビンティアズズ	マレーシアの洪水特性と対策についての研究～タワウと高崎市の比較～	永野
パトチョロン サンジャージャムツ	各種アスファルト混合物における疲労き裂伝播特性の評価	木村(清)

学生氏名		課題名	サブタイトル	正担当	副担当
生産システム工学専攻	天川 拓海	自然言語処理の応用システムの研究	格闘ゲーム初心者向け感想戦支援システムの提案	荒川	市村
	新井 将典	産業応用上の制約を考慮した制御技術に関する研究	ラグール関数を用いた高次システム同定法に関する研究	平社	平間
	安藤 虹詩	移動体通信システム用インピーダンス変換回路の研究	高度情報通信システム構築に向けた、高効率電力増幅器に関する研究	石田	佐々木
	石川 雄大	計算機を用いた量子力学系のシミュレーション	非対称性を持つ超伝導薄膜の電流特性の研究	高橋	宇治野
	市村 凌	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	広帯域可視光通信用送受信回路の開発	佐々木	松本
	笠原 俊	核磁気共鳴の原理をもちいた計測工学の応用	同期検波波形記録ブロックにおけるLSI性能発揮に関する実験的検討	五十嵐	佐々木
	金子 宗平	マルチスケール熱流動科学	DBDプラズマアクチュエータを用いた円柱周りの渦生成の制御	矢口(久)	櫻井
	川田 斐斗	最新の工業材料や工作機械を用いた加工技術に関するテーマ	チタン合金の旋削加工における切削油剤の影響	櫻井	黒瀬
	川和 瑞貴	最新の工業材料や工作機械を用いた加工技術に関するテーマ	工具ホルダへの制振合金適用による振動低減評価	櫻井	平社
	堤 一真	自律型移動ロボットの最適誘導方式に関する研究	温室ハウス換気制御のための温湿度遠隔測定システムの開発	平社	櫻井
	西尾 拓馬	情報技術とヒューマンインターフェースを活用した研究	VR空間における視覚・聴覚情報が記憶力に与える影響の検証	崔	市村
	野口 剛	計算機を用いた統計力学系のシミュレーション	シミュレーション解析を用いた超伝導論理回路の研究	高橋	宇治野
	松田 朋大	マルチスケール熱流動科学	微小テーパー管内における低レイノルズ数流れの理論的検討	矢口(久)	重松
	宮田 洋輝	人工知能による応用システムの研究	処刑確率と襲撃確率を用いた人狼ゲームの数理モデル	荒川	市村
横坂 豪大	最新の工業材料や工作機械を用いた加工技術に関するテーマ	エンドミル用制振合金スリーブの最適適用法の研究	櫻井	平社	
環境工学専攻	石井 敦大	社会基盤を脅かす問題に向けた微生物利用による解決法と関連微生物の解析	活性汚泥中における有用微生物の優占技術および制御方法の開発	宮里	堀尾
	井上 卓磨	安全で円滑な道路交通環境に資する道路幾何構造および交通運用手法の研究	ドライバの譲り挙動に着目した横断歩道上の交錯危険性に関する研究	先村	鈴木
	神田 実瑳紀	微生物の触媒機能を利用した生物資源や合成化合物からの有用物質生産に関する研究	ケイ皮酸類縁化合物の微生物変換とそのメカニズム	宮越	辻
	園部 雅樹	分子分光学を用いた化学反応機構の研究	レーザー分光測定における簡便な波長校正方法の検討	辻	中島
	高田 光	地形・地質条件の違いを考慮した土石流による流路変動評価手法の開発	直線水路を流下する土石流の流動層厚と流路床の侵食特性に関する研究	森田	永野
	高山 和史	機能性酸化セラミックスの合成とその形態制御に関する研究	溶液法による蛍光体セラミックスの合成と評価	平	中島
	竹内 舜	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	表面改質した高容量リチウムイオン二次電池の作製	太田(道)	平
	野子谷 成彬	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	非イオン性界面活性剤を用いた多孔質炭素材料の作製	太田(道)	藤重
	谷中 駿介	分子分光学を用いた化学反応機構の研究	長光路吸収分光法を用いた大気微量成分に関する研究	辻	平
柳原 駿太	火山防災へ向けた溶岩流災害情報の基盤構築と流動特性評価手法の開発	溶岩流災害の実態とその定量的評価手法の開発に関する基礎的研究	先村	永野	



# 教職員からは

自信をもって飛び立とう!!

群馬高専の学び舎で過ごした歳月は、みなさんをご確かな成長へと導きました。新たな舞台に臨む不安と向き合いつつも、それを圧倒する自信をもって飛び立ちましょう。

(一般教科(人文科学) 教授 大島 由紀夫)

ご卒業・修了おめでとうございます。特に本年度の本科卒業生は私が初めて担任をした学年であり、入学から卒業までを見届けることができたことは感慨深いものがあります。本科生・専攻科生ともに、卒業後も皆さんの活躍を耳にすることができることに楽しみにしています。

(一般教科(人文科学) 准教授 太田 たまき)

「新たなる船出」

卒業式のことを英語で“commencement”という。しかし、この単語のもうひとつの意味は「はじまり」。「式」でひと区切り付けたあとに待つのは、次なる人生のスタートです。

(一般教科(人文科学) 准教授 長井 志保)

ご卒業おめでとうございます。入学してからの5年間・7年間は、いま思えばあっという間だったと思います。これからも健康に留意し、一層の精進を心掛けてください。ご活躍を期待します。

(一般教科(自然科学) 教授 神長 保仁)

ご卒業おめでとうございます。これからの長い人生を送るにあたり、物事に「感動する心」を持つことに心がけてみてください。感動は好奇心の源泉、好奇心は行動のエネルギー、旺盛な好奇心をもって生きている人は輝いています。「感動する心」を持つためのコツは、「ことあるごとに感じて言葉にする」です。例えば「人に話す」「声に出す」「文章にする」などです。そして皆様の将来は夢と希望に満ち溢れていることをお忘れなく。

(一般教科(自然科学) 教授 谷口 正)

ご卒業おめでとうございます。

何事も、大きな夢と小さな一歩の両方が必要だと思います。大きな夢を見つつ、小さな一歩を着実に積み上げていく。気がつくや驚くほどの距離を進んでいる。そういうものだと思います。成長した皆さんにお会いできる日を楽しみにしています!

(一般教科(自然科学) 准教授 高橋 徹)

ご卒業おめでとうございます。元気に新しい生活に飛び込んでいって下さい。

長い人生挫折することもあるかもしれません。挫折したっていい、健康で元気に、これが第一です。

(機械工学科 嘱託教授 金子 忠夫)

あきらめなければ必ず道はある。

卒業・修了おめでとうございます。

これからの人生は様々なことがおこるでしょうが、諦めることなく努力を続けることが肝要です。令和最初の卒業生として、大きく羽ばたいてください。

(機械工学科 准教授 山内 啓)

「ぐんまちゃん」の学校案内やポスター、覚えていますか?

皆さんが高専受検のとき、私が入試担当でした。

あのとき入学した皆さんがもう卒業なのですね。

最後までよく頑張りましたね。

キラキラの門出を祝福いたします。

(機械工学科 准教授 矢口 久雄)

「高専で学んだことを糧にして」

ご卒業おめでとうございます。これまで、高専というゆりかごで守られてきましたが、これからは大変なことも待っているでしょう。そんなとき、高専で学んだことがきつと役に立ちます。これからも頑張ってください。

(電子メディア工学科 教授 佐々木 信雄)

皆さんは、高専でどれくらいXPを上げることができましたか?

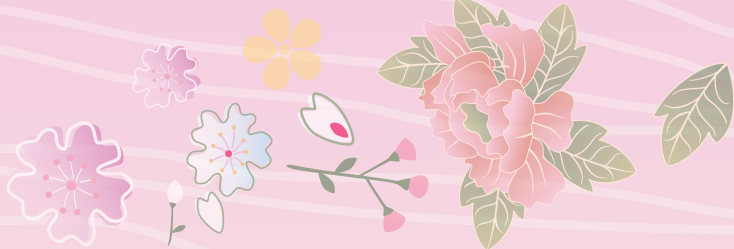
かなりハイレベルになったと思っている人もまだまだ道半ばです。強い敵が出てきても負けないように、さらにレベルアップして下さい。

(電子メディア工学科 准教授 布施川 秀紀)

ご卒業おめでとうございます。一緒に過ごしたのはたった1年間でしたが、一人一人が個性的でした。進学・就職先では学ぶことが多く大変でしょうが、自分の個性、そして群馬高専で学んだことを生かしつつ、今後も頑張ってください。

(電子メディア工学科 助教 塚原 規志)

# なむけの言葉



今、万感の思いを込めて汽笛がなる。  
今、万感の思いを込めて汽車がゆく。  
一つの旅は終わり、また新しい旅立ちがはじまる。  
〔「銀河鉄道999」より〕

さらば、高専生の日々!

(電子情報工学科 准教授 市村 智康)

## 蛍雪之功

「蛍雪之功」という四字熟語のように苦労して勉学に励んだ卒業生みなさんに、卒業、おめでとうございます。それぞれ持っている将来の夢や人生の進路は異なるとおもいますが、群馬高専で熱心に磨いた知識、人格、体力が人生の羅針盤になり、人生のよい方向を設定するように願います。

(電子情報工学科 准教授 崔 雄)

## 「歩を進める者の後ろに道は出来る」

縁あって本学に入学して以降、時間をかけてたどり着いた卒業までの「キセキ」は、確かに皆さんの知識や技能、あるいは経験として残っているはずです。それぞれが描く未来に向かって歩を進める皆さんの活躍を期待しています。

(電子情報工学科 准教授 川本 真一)

ここに晴れて卒業の日を迎えられた皆様に心よりお祝い申し上げます。

これまで学んだ事を活かして、更に大きく羽ばたいてください。

応援しています!

(物質工学科 教授 出口 米和)

ご卒業おめでとうございます。

5年間努力して成長された皆さんを誇らしく思います。

社会に出てからも努力を惜しまず、謙虚に、そして人への思いやりの気持ちを大切に歩いて行って下さい。

(物質工学科 講師 工藤 まゆみ)

努力は裏切りません。

卒業までの高専生活でさまざまな努力をしてきたことと思います。その努力が必ずしも報われなかった経験もあるかもしれませんが、でも、その努力は必ず今後の自分の糧になります。今は実感がなくても。

卒業後も応援しています。

(物質工学科 助教 工藤 翔慈)

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
高専での楽しい思い出を糧に苦しい時も頑張ってください。

辛い時や苦しい時は人として成長する機会だと思って乗り越えていきましょう。活躍を祈っています。

(環境都市工学科 教授 木村 清和)

人は、「行動を起こさない」から「できない」、という言葉があります。行動しないで後悔するより、一所懸命に実行しましょう。たとえ失敗しても、あなたの将来に繋がる貴重な経験になります。

(環境都市工学科 准教授 宮里 直樹)

## 「自分の中での価値基準を明確に」

ご卒業おめでとうございます。

卒業後は、誰かが設定した答えに合わせるのではなく、適切な手法や考え方を自ら選択しながら、答えを作り出すことが求められます。人生設計も同様で、他人が答えを用意してくれているわけではありません。自分の中での価値基準をしっかり持ち、後悔の無い人生を選び取るよう願っています。

(環境都市工学科 講師 永野 博之)

「政治の役割は二つあります。一つは国民を飢えさせないこと。…もう一つは、これはもっと大事です。絶対に戦争をしないこと。菅原文太」

昭和の任侠俳優は私生活でも硬派の人でした。私も「政治」を大人の、親の、に替えて自分を諫めています。卒業おめでとう。これからは共に幸せな社会を築きましょう。

(教育研究支援センター 技術専門職員 浅見 博)

Congratulations on your graduation! 学生時代のたくさんの思い出を大切に、さらに自分を磨いて、新しい世界へ羽ばたいてください。これからも、応援しています。

(教育研究支援センター 技術専門職員 大野 佳代子)

多様性が受け入れられつつあります。他人の目を気にせず、自分自身にとっての大切なものを大事にしてください。

(教育研究支援センター 技術専門職員 小城 淳一)

# 退任挨拶

3月で本校を去る教職員にあいさつをいただきました。

## 長い間お世話になりました

機械工学科 嘱託教授 **金子 忠夫**

昔ですが、「嫌だったらさっさとやめる」と学生に時々言っていました。今なら立派なバウハラですね。でも、「・・・逃げる」とは言っていない。「やめる」の方がずっと積極的なニュアンスがあります。自分が「やめる」という選択をしたのです。「嫌じゃないからやめない」も積極的です。群馬高専は好きだけど悪夢のような成績からは逃げたい。この場合の選択肢は全部でいくつあるのでしょうか。既に還暦を超えているのに私にもわかりません。ただ最近、「失敗して後悔するの経験の内」と考えるようにはなりました。M科のA君やB君、恐れず自分なりの「積極的な選択」をしましょう。

皆様のおかげで昨年無事定年を迎え、嘱託としてお世話になっておりましたが、この度、退任する事となりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



## 『長いけど短かった40年でした』

電子メディア工学科 嘱託教授 **鈴木 靖**

1979(昭和54)年4月、大学卒業後すぐに本校に着任して以来、早40年という月日が流れてしまいました。着任時、専門が学生時代の「放電物理」から、請われて「音響工学」に変わりましたが、ここまで、授業に研究に、また課外活動にと学生とともに楽しく過ごして行くことができました。

振り返ればいろいろなことがありました。挙げればきりがありませんが、いくつか記してみます。

- ・ 榛名登山(それまでは夜間実施だったのが、着任した年から昼間の実施になりました。それから十年後、廃止となりました。)
- ・ J科の新設(上げ時、末端の1人として関わりました。その後、E科の倍率が下がりました。)
- ・ 校舎の全面改修(窓枠が鉄からアルミになりました。エアコンも付きました。)
- ・ 認定専攻科(申請時に担当の1人でした。けっこう大変でした。)

今日まで何とか無事に勤め上げることができたのも、ひとえに教職員、学生及び卒業生、そして保護者の皆様のおかげと感謝しております。長い間本当にありがとうございました。



## 高高コンピューター・トレイン

電子情報工学科 嘱託教授 **大平 栄二**

高崎駅の2<sup>3+1</sup>/<sub>4</sub>番線ホームから発着する電車で、ホグワーツではなく群馬高専に2年間通いました。群馬藤岡までは、通勤電車の感がありますが、過ぎると乗客が激減し、乗ったことはありませんが、銀河鉄道のような寂しさが漂います。主な駅で、児玉、寄居、小川町を過ぎ、越生駅に着くと部活帰りの高校生が乗ってきて少し賑やかになります。八高線と言いますが、実は2駅先の高麗川が終着で、いつの間にか高高線になっていました。私の様に先に行くには乗り換えが必要です。この2年間、台風で遠距離通勤が片道4時間の超遠距離通勤になったり、11時頃に駅に放置されたり、えらい目にありました。ただ、松久、用土辺りのあぜ道に群生する彼岸花の鮮やかな赤色は感動ものでした。本当に鮮やかなのは、3~4日位で、唯一通勤のメリットを感じた瞬間でした。皆さんも高高線の旅いかがですか。

最後になります。教職員、学生の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。追伸、群馬では、赤城山のすそ野の美しさにため息がでました。



## 「さようなら。ありがとう」

一般教科(人文科学) 准教授 **長井 志保**

早いもので、2013年4月に群馬高専に着任してから7年の月日が経ち、4月から四国大学で勤務することになりました。高専で出会った先生方、職員の方々、保護者の方々のご指導とご協力のおかげで、これまで何とかやってくることができました。心から感謝申し上げます。

この学校での一番の思い出は、多くの学生たちに出会えたことです。静かに目を閉じると、学生たちの顔が次々と浮かびます。みなさんの純粋さに感化され、生きる気力をもらい、そして育てられました。

四国に別れを告げて13時間のドライブの末に群馬県に足を踏み入れた7年前と同じ道を通して、春分の日、また四国に帰ります。さようなら。本当にありがとうございました。



## 退職ご挨拶

一般教科(自然科学) 准教授 **矢口 義朗**

8年間お世話になりました群馬高専を退職し、4月から前橋工科大学で勤務することとなりました。この8年間は私にとって、何ものにも代えがたいとても充実した年月だったのだと思います。授業や担任の仕事を通して、教員として(いや、人として)大切なことをたくさん学べました。学生、保護者、教職員の皆様に色々教えて頂き、励まして頂きながら成長できたのだと思います。皆様との出会いに心から感謝をし、この経験と思い出を胸に秘めて、これからの人生を歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

8年前、群馬に引っ越してきた初日は、信号機が「からっ風」に煽られながら必死に堪えている姿を見て、群馬でやっていけるか不安になりましたが、今は一前橋市民として、これこそが群馬だ、と誇りに思っております。たぶん、ずっと群馬にいます。時々ケヤキに出没するので、見かけたらお声をかけて頂けたら嬉しいです。

最後に、皆様のさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。今まで、本当にありがとうございました。





# 1 日 研 修 旅 行

## 「鉄道の街、大宮へ」

3M 菅原 直弥

3Mは11月7日に研修旅行でさいたま市の鉄道博物館とJR東日本総合車両センターを訪れました。鉄道博物館では鉄道に関する様々な展示物を見学した後、総合車両センターへ向かいました。総合車両センターでは吊り上げられている車両や塗装中の車両、分解されている状態の蒸気機関車等普段目にすることができないものを見学することができました。今回の研修旅行は機械工学科生としてとても良い経験になったと思います。



## お昼のステーキカレーは美味かった!

3E 馬場 悠希

3年電子メディア工学科の研修旅行では、品川駅付近のドコモCSの品川ビルに行ってきました。立派な会議室で会社の理念や、4Gを超える5Gの電波の仕組み、基地局とは何なのかなどを説明された後、実際に社員の方が働いているネットワークオペレーションセンターの見学をさせて貰いました。去年までは「見学」に近かったのが、今回はより本格的な「研修」の雰囲気を感じました。

## 地元を通過した研修旅行

3J 鈴木 勇人

3Jは研修旅行でJAXA筑波宇宙センターに行った。センター内には宇宙に関する様々な展示があり、宇宙について多くのことを学ぶことができた。

センター内には宇宙食の自動販売機があり、たこ焼きやバニラアイスなどの宇宙食が売られていた。

昼食は食堂でラーメンを食べた。おいしかった。行き帰りともに関越道と圏央道を経由したが、私は埼玉県桶川市から通っているため、地元を2回も通過することとなり、なんとも言えない悲しさがあつた。



## 大学生活に触れて

3K 松本 怜

私たちは、研修旅行で千葉大学（工学部）と川越（蔵造りの町並み）へ行きました。千葉大学の学内を先生方に案内して頂き、その先生方の中には本校の卒業生がいらっしゃいました。実験設備が充実しており、興味深い研究室が沢山ありました。実際に見てみることで、大学編入の魅力を改めて感じました。学食も美味しかったです。川越散策では、蔵造りの美しい町並みや時の鐘など、小江戸らしさを感じることができました。最新技術からレトロな町並みまで、幅広いことを学べた研修旅行でした。

## We are 3C. About study trip.

3C 内山 康太郎

3年環境都市工学科は群馬県箕郷町にある建設中の橋と茨城県つくば市の土木研究所に見学に行きました。建設中の橋を見ることは初めてで、出来上がる前の橋の内部構造を見ることができて良かったです。その橋が完成することで周辺地域が活性化されることに違い無いと思います。また土木研究所では雨天でも滑りにくいコンクリートなど様々な土木技術について学びました。

環境都市工学の分野では、目先の利益だけでなく全ての行動のメリットとデメリットを考え把握し、環境に優れたものを作らなければならないと感じました。



## 「三連休の次の日には気をつけろ！」

4M 朝戸 拓望

私たち4Mは3泊4日で関西方面に行きました。

まず高崎駅を出発し名古屋の地に降り立ちました。名古屋は担任の平社先生の出身地であり、先生ゆかりの地も訪れることができました。その裏で事件は起きました。3連休の次の火曜日だったため水族館や博物館が休館していたのです。それを知ったのは水族館の駐車場に着いてからでした。予定を変更し熱田神宮と大須の散策をしました。しかし、各々柔軟に対応し、食べ歩きや喫茶など、各々、楽しんだようでした。2日目は伊勢神宮に参拝しました。令和元年である今年は天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う行事が伊勢神宮で行われるため良い記念になりました。3日目は大阪から班行動でした。USJや足を延ばして姫路城を訪れました。私たちの班は姫路城から有馬温泉に行き、大阪観光をしました。くいだおれと言われるだけあって全部美味しかったです。最終日は京都の嵐山に行きました。京都は3度目でしたが四季折々の姿を持っており新しい発見があって楽しかったです。

教科書等で名前を聞いたことがある伊勢神宮など、実際に訪れたことがない場所も多く、今回の旅行は、日本についての教養を学べました。

4Mのみんなで楽しい思い出ができてよかったです。



## #社会見学旅行 #4E #USJ #大阪市立科学館 #おいでやす

私たち4Eは、京都・大阪へ3泊4日の旅に行ってきました。

初日は、高崎駅から新幹線を利用して京都に向かいました。天候にも恵まれ、晴れやかな気持ちで出発しました。到着後、バスに乗り換え京都大学に行きました。残念ながら、施設見学はできませんでしたが、京大生のありのままの姿を見ることができました。次に、祇園に移動し周辺を散策しました。修学旅行の定番である清水寺は、紅葉の時期もあってか観光客で賑わっていました。

2日目は、班に分かれ京都・大阪を観光しました。至るところに歴史を感じさせる建物があり、群馬との違いに驚きました。また、食については、たこ焼きや串カツなど食べるものすべてがおいしく、「さすが本場！」と思いました。

3日目は、USJに行きました。平日でも多くの人で賑わっており、日常を忘れて、アトラクションや買い物など、思う存分楽しみました。

最終日は、大阪市立科学館を見学しました。

## 「ほっかいどうはでっかいどー！」

4K 高瀬 峻汰

1日目は飛行機に乗った。私は飛行機乗るのが初めてで、どきどきとわくわくを感じながら日本最北端の北海道へと向かった。無事に到着し、空港を出た瞬間に感じたのは北海道の寒さであった。群馬とは違い、コートを着ないと耐えられない寒さだった。そのままサッポロビール博物館へ行った。ここでは、ビールを作る工程や、巨大なビールの仕込みタンクを見学した。この日の夕食はジンギスカンだった。班によっては肉を焦がしたり、野菜がてんこ盛りだったりしていた。2日目は札幌市内を班に分かれて観光した。私の班は円山動物園、白い恋人パーク、二条市場などの観光名所を巡った。円山動物園で見たニホンオオカミはイケメンだった。また、二条市場で食べた牡蠣の味は忘れられない。3日目は函館を観光した。地球岬に行ったが、あいにくの雨できれいな景色は見る事ができなかった。次に訪れるときは晴れることを願うばかりである。夜には函館の夜景を見るためにロープウェ

イに乗った。夜景はもちろんきれいで、北海道の広大さがよく分かった。4日目は飛行機に乗って無事に帰ってきた。全員が無事に家に帰れたことが1番喜ばしいことである。

観光はもちろんよかったが、友達とホテルでおしゃべりをしたり、一緒に温泉に入ったりしたことが楽しかった。より、クラスが一丸となれた研修旅行であった。





## 4E 唐澤 風海人

この施設では、科学全般について小学生でも分かるように紹介されています。電気とエネルギーのコーナーでは、発電や送電のしくみを模型などで学ぶことができました。さらにサイエンスショーでは、電池の仕組みについて実験を交えて説明していただきました。

工華祭の疲れが残る中での社会見学旅行でしたが、それを忘れるくらい楽しむことができました。良い旅行になったのも、今の4Eのメンバーだからこそだと思います。この思い出を忘れることなく、今後も受験勉強や就職活動を頑張っていきたいと思います。



## 知らぬ間に聖地巡礼

## 4J 小柳 太一

工華祭が終わってから2日後、工華祭の疲れが取れないうちに私たちは研修旅行で京都、大阪に赴きました。研修の内容としては京大の見学、講義の受講がメインでした。見学ではスパコンを見せていただき、スパコンの維持がいかに大変かということをもっと学びました。講義ではとあるアルゴリズムについての講義があり、なかなか興味の惹かれるものでした。1日目の京大見学の疲れをホテルで癒したのですが、ホテルのお風呂がユニットバスではなかったことに驚きました。2日目は京都・大阪散策を行いました。実は、神社や寺院など昔から存在する建物を見るのが好きだったので、とても有意義な1日となりました。散策した中でも、千本鳥居のある伏見稲荷大社はとても感動しました。数多くの鳥居が並んだあの幻想的な風景は一生忘れることはないと思います。研修旅行から帰宅後、私は「五等分の花嫁」という漫画にはまってしまったのですが、作中に主人公たちが千本鳥居に行くという場面があることを知り、研修旅行の時にもっとしっかりと見たり、撮ったりするべきだったなと後悔したのがこの研修旅行での1番の思い出でした。



## 海辺めぐりの研修旅行

## 4C 柳井 援気

私たち4Cは11月5日からの研修旅行で九州に行きました。最初の3日間は、クラス全体で長崎と福岡に行きました。特に印象に残ったのは軍艦島でした。10月の台風の影響で上陸は出来ませんでしたが、船で周りを見学しました。島は当時の生活が残ったままで、高層集合住宅や石炭を運ぶ大きいパイプがありました。当時の軍艦島は狭い範囲で多くの人が生活しており、当時世界一位の人口密度を誇った東京の9倍の人口密度であったと言われています。3日目の午後からは自由行動になり、私たちの班は広島に行き、原爆ドームと宮島を訪れました。宮島は平日にも関わらず多くの人がありました。厳島神社は満潮の時と干潮の時で水位差が変わるため、日本三景である景色を、趣を変えて2回楽しむことができました。また、ロープウェイで山頂から見た景色もとても綺麗でした。

高専での学校行事としては最後の旅行でしたが、とても充実しており、楽しく過ごすことができました。クラスでの残りの行事も楽しみたいと思います。最後に日程の調節や引率をしてくれた先生方に感謝いたします。



## 学生会新役員紹介

### 新しい1年の始まりです。

新学生会会長 2年4組 (J) 渡辺 幸徒

新しく群馬高専の学生会会長を務めさせていただきます渡辺幸徒です。今年もまた、4月1日から学生会執行部は新体制で活動を始めることとなりました。今までお世話になった4年生の先輩方には、とても感謝しています。これまでの経験を活かし、業務の効率化を進めながらよりよい学生会執行部にしていきたいと思ひます。

さて、学生会とはどのような組織なのかご存じない方も多いのではないのでしょうか。学生会とは中学や高校での生徒会のようなものです。そして、学生会の会員は本科生全員です。学生会執行部は、学生が主体となって活動を行う際に、中心となる組織です。

新副会長や執行部の役員と協力しながら、イベントや行事での運営がスムーズに進むように努力していきたいと思ひますので、学生会活動に積極的に取り組んでいただきたいと思います。



## 吹奏楽部 定期演奏会

### 年に一度のコンサート

3J 石関 隼人

吹奏楽部は野球応援や文化発表会、工華祭などのイベントで管楽器を主体とした演奏をしており、今年度は12月26日に前橋テルサにて第57回定期演奏会を開催させていただきました。今年度は工華祭もあり、準備日数が少ない中での定期演奏会となりましたが、限られた日数の中でも各役員が練習を重ね、当日はどの曲も楽しみながら演奏することができました。

普段は合奏という形で役員全員そろって演奏することが多いのですが、定期演奏会ではアンサンブルという形で少人数での演奏もしました。アンサンブルはどの楽器もよく聞こえるようになるため、演奏ミスに対するプレッシャーを普段より感じましたが、演奏後の達成感もまた強く感じることができました。

定期演奏会を通じて、演奏をする楽しさと吹奏楽部の今の実力を、改めて身に染みて感じました。来年度は12月28日に前橋市民文化会館にて開催させていただくので、是非お越しください。



## 留学生研修旅行

### 記録的な雪不足!でも、スノーボードを満喫!

環境都市工学科 教授 木村 清和

今年は記録的な暖冬で、このスキー場も雪不足です。留学生たちは研修旅行でスノーボードができるか心配したことと思ひます。しかし、那須高原のハンターマウンテン塩原スキー場は人工降雪機のおかげで全面滑走可能となり、無事留学生旅行に行くことができました。

初日は、煌びやかさに圧倒されながら日光東照宮を参拝し、その後ハンターマウンテン塩原に移動しスノーボードスクールで基本を習いました。はじめてのスノーボードで苦戦していた留学生たちも、すぐに滑れるようになり、2日目の自由滑走を楽しみにするほどの上達ぶり、そのポテンシャルの高さに驚かされました。2日目は朝からスキー場に移動し、リフトを使っての自由滑走です。冬晴れの素晴らしい景色の中、留学生たちは思い思いに記念撮影をしながら一日スノーボードを満喫していました。留学生達のキラキラと輝いた笑顔に、素晴らしい思い出ができたことが伺えました。留学生のみなさん、また機会があれば一緒に滑りましょう!



## 全国高等専門学校デザインコンペティション「デザコン2019in TOKYO」

### 構造デザイン部門

#### 「紙」でより強い橋を!

構造デザイン研究会 4C 岩城 奈知

私たち構造デザイン研究会は、令和元年12月7日、8日に開催された全国高等専門学校デザインコンペティションに参加しました。

私たちの参加した構造デザイン部門は、使用可能な材料が紙とボンドのみで全長1mの橋を製作し、強度と軽さを競い合うというものです。より壊れにくくより軽い橋を目指し、全国から高専生が集まりました。群馬高専からは2チームが参加しました。トラス形式を用いた「salamander」、そしてアーチ橋への執念を形にした「tenacity」です。日々の努力の成果か、「salamander」は例年よりも良い成績を残すことができました。これも私たちを支えて来てくださった顧問の井上先生や木村先生のおかげです。本当にありがとうございました。



### AMデザイン部門

#### 4年ぶりのデザコン全国大会出場!

3Dデザイン研究会 4M 朝戸 拓望

12月7、8日に大田区産業プラザPiOにおいて全国デザインコンペティション2019 in Tokyo が開催され、私たちは4年ぶりに全国の舞台に立つことが出来ました。AMデザイン部門は書類審査による1次選考があり、新規性、実用性、事業性、活用性から評価され全国大会に出場できます。今回のテーマは「社会的弱者に向けたスポーツ支援具」で、社会的弱者というニーズにどのようにアプローチして利益を出し、ビジネスを成り立たせるかが課題でした。私たちは健常者にも使用可能な製品を提案しましたが、製品の値段を安く設定して広く使ってもらおう狙いが裏目に出て、利益が得にくい問題を指摘されました。ですが、審査員からオーダーメイドのみを受け付けて値段を高くし、価値を高めるという提案を受け、この経験を活かし来年は入賞したいと感じました。



## 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会

### 開催報告

#### 英語弁論大会報告

一般教科 (人文科学) 教授 伊藤 文彦

11月23日、第34回関東信越地区英語弁論大会が本校で開催されました。本校からは4名が出場し、レシテーション (暗唱) 部門では伊藤綾香さん (1C) が2位となり、スピーチ部門では齋藤環希さん (5E) が特別賞を受賞しました。萩原颯君 (3M) と横山麗さん (1C) らもまた、一生懸命努力してきたその成果を見事に発揮していました。大会に遜色のないレベルまで発音、リズム、イントネーション、ジャスチャーなどを磨くのは容易なことではなかったことでしょう。その困難に負けない姿勢は敢闘賞に値します。

10年前の第24回大会の審査員で、今回もネイティブスピーカーとして審査をしていただいた岩淵デボラさんは、「10年前より出場者の英語レベルが上がった」と褒めていました (デボラさんは米国出身で、宮部みゆき著「魔術はささやく」[1989年日本推理サスペンス大賞受賞作品]の英語翻訳者です。英語タイトルは *The Devel's Whisper*)。また、日本人審査員の前橋女子高校校長の戸塚泰聖先生、グローバル企業の (株) ミツバで、英語を使って外国人に社員教育をされている林昌史氏ら二人の日本人審査員の方々も、高専英語教育の質の高さについて言及し、さらには英語の重要性についてアドバイスしてくださいました。第35回大会は木更津高専で開催されます。英語力を高めたい学生は是非チャレンジしてください。深い学びが達成できるよう、私たち英語教員が全力でサポートいたします。英語力を磨くチャンスになるでしょう。

### レシテーション部門 2位

#### マララさんと対話した日々

1年1組 (C) 伊藤 綾香

私は今回レシテーション部門に出場させていただきました。しかし、出場すると言ったものの高専大会の様子を見たことはなく、経験がない私にとっては疑問と不安しかありませんでした。そのような時に、私を助けてくださったのは私の周りの方々でした。

熊谷先生や長井先生を始めとする多くの先生方や先輩方、友人、そして共に励んだ横山さんにも感謝いたします。発表では、今までの練習や皆さんの応援のおかげで、不安な気持ちはないまま最高の弁論をすることができました。その結果、関東信越大会で2位に入賞することができました。この経験は自分自身の成長につながったと思います。

私は環境問題について興味を持っています。マララさんが教育問題について世界に訴えたように、私も環境都市工学科でこれから学ぶことを生かし、世の中に訴え、問題を改善できるような人になりたいと思いました。本当にありがとうございました。



## 学科別講演会

### 物質工学科 講演会

#### 先輩からの直伝 「企業で活躍できるエンジニアになるために」

物質工学科長 藤重 昌生

講師の西澤先生は、1985年に工業化学科（現物質工学科）を卒業され三菱マテリアル株式会社に入社、基礎研究を重ね主力製品を開発されました。その後は研究部門と海外工場の責任者、今は、電子デバイス開発センター長として採用も担当しておられます。



硬い表情の学生に「自分は決して優秀でなく、授業後はナイタースキーによく行った。」などと語り掛け、学生を驚かせると共に講演に引き込んでいました。大変な開発研究も苦労話でなく、国際会議のエピソードや同僚からも学んだ経験も踏まえて、「上下関係を気にせず人と話せる、どんな国・都市へも飛んで行ける、あきらめない努力」という企業で活躍できる極意について実体験をもとにお話いただきました。

### 環境都市工学科 講演会

#### 技術の変わり目はチャンス

環境都市工学科 准教授 宮里 直樹

スマートコンストラクションは、建設機械で世界的に有名なコマツが提案している、無人化・自動化に加え、情報通信技術（ICT）の導入により、労働力不足の解消、安全かつ効率的な「未来の建設現場」です。ご講演いただいた田中博文氏（高専の卒業生。ある意味で皆さんの先輩）は、このコマツのスマートコンストラクション推進本部事業開発部長を務められている方です。高専時代にはアルバイトにより貯めたお金で米国へホームステイを行い、その時のご経験が今も活かされている（外国人と話すことに抵抗がない）と話されるなど、行動力のある高専出身者らしい印象を受けました。その田中氏のご講演で最も印象に残ったのが、“技術の変わり目はチャンスである”という言葉です。具体的には3D技術（CAD）を話されていましたが、まさに今、高専生が学んでいる技術が現場では求められているそうです。近い将来、高専を卒業した学生が、多くの現場で活躍しているのではないかと、そんな予感をさせるお話でした。



## 学生相談室 講演会

#### ストレスとうまく付き合おう!

臨床心理士・カウンセラー 西川 恵美子

- 1 ストレスに早目に気づき、ストレス反応（イライラ、不安、無気力、心身の不調等）とストレス（ストレスとなる出来事）に分けて考えてみよう。
- 2 ストレスの強さは、出来事が本人にとってどれだけ重要か、どの程度解決見通しがあるかに影響され、本人がどう感じているかが大切。気持ちが楽になる考え方を見つけよう。
- 3 対処法には様々な種類（問題解決、誰かに手伝ってもらう、気分転換等）があり、自分の対処のくせに気づき、様々な対処法を時と場合に応じて使い分けよう。

- 4 リラクゼーションや呼吸法（口をすぼめて細く長く息を吐く。吐く時にお腹がへこむ）を取り入れ、頑張りモードとリラックスモードのバランスを取ろう。
- 5 「ストレスは人生のスパイス」ストレスをなくそうとするのではなく、うまく付き合い、一人で頑張りすぎないようにしよう。



## 生物教育研究連携講演会

### 視覚と錯視の数理とその応用

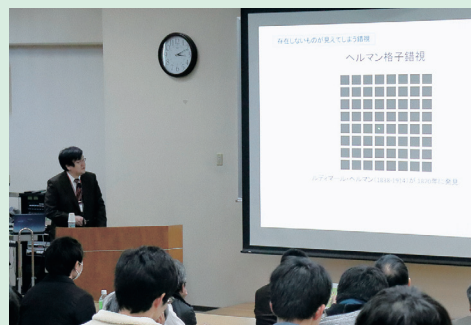
地域連携テクノセンター 副センター長 宮越 俊一

令和元年12月18日に、早稲田大学の新井仁之教授をお迎えして第13回生物教育研究連携講演会が開催され、本校の学生・教職員、地域の方々あわせて約80名の方々に参加されました。

新井教授は数学の分野で多くの業績をお持ちの方ですが、ご講演では近年成果を上げておられる、視知覚・錯視について数式を用いたモデルが紹介されました。モデル化に必要な数学理論の中には、新井先生ご自身が考案なさったものもあるとのことでした。また、モデルを応用することにより、画像を鮮鋭化する技術や、錯視を狙い通りに起こす技術が紹介されました。さらにその成果

は、菓子店のパッケージなどとしてすでに実用化されており、多くの不思議で面白い画像で目を楽ませてもらいながら、この分野における数理的な手法の大きな可能性を実感しました。

講演に先立って行われたポスターによる本校生物分野の研究紹介や、講演後の質疑応答も、活気ある情報交換の場となっていました。



## 令和元年度 ダイバーシティ推進室企画

### 「料理から学ぶダイバーシティ～焼きそば料理対決～」

ダイバーシティ推進室長 櫻岡 広

昨年度までの「男女共同参画推進室」が今年度から「ダイバーシティ推進室」と名称が変更され、私が室長に任命されました。私自身は「男女共同参画推進」にあまり良いイメージを持っていません。というのは、「男女は平等」「能力に性差はない」「性別による差別はしてはいけない」と当たり前のように考えていたからです。さらに「政府が主導してしようとすることに成功したためしがない」という思いもありました。

今年度最初の「ダイバーシティ推進室」の会議は「今年度は何をしましょうか?」というところから始まり、「女性よりも男性の意識改革のほうが必要ではないか」ということで話し合いました。それを受け、後日副室長のK科の大岡先生から「宮越先生と櫻岡先生の焼きそば対決」なんてどうですか?という提案があり、今回の企画になった次第です。

紆余曲折がありました。10月16日(水)15:30から「料理から学ぶダイバーシティ～焼きそば料理対決～」が開催されました。当日は3年生がTOIECの試験があり、途中からでも参加してもらえるように15:30からの開始としたのですが、開始時には男子学生67名・女子学生31名、計98名と予想以上の学生が参加してくれたこと

で、急遽3年生には入室を待ってもらい、2部開催としました。第2部(3年生)の参加者は男子学生48名・女子学生10名の計58名。全体では156名が参加してくれました。

予想以上の参加者で学生諸君には、ほんの少ししか試食してもらえず申し訳ないことをしたと反省しています。ただ、今回の企画の趣旨は「試食」ではありませんから、そこはお間違えなく。私が料理をするのは、ただ単に「家でビールを飲むときに、おいしいものが食べたい」から始まっていますが、宮越先生の「料理は実験です」という言葉には深く同意できました。

「人々がお互いを認め尊敬しあい、お互いの足りない部分を補っていく」という当たり前のことができるようになれば、ダイバーシティという言葉もなくなっていくと思いますし、そうなることを望みます。



## 令和元年度 群嶺テクノセミナー

### 「新たな年号でのテクノセミナーの始動」

地域連携テクノセンター長 櫻井 文仁

今年度の群嶺テクノセミナーは、年号が変わってすぐの5月17日をはじめとして、全5回開催されました。内容としては、昨年度から継続して取り上げている群馬高専教員の研究分科会の紹介、地元企業の卓越した技術紹介、専攻科生がカリキュラムとして実施するPBL実験の企業からのテーマ紹介、新人教員のシーズ紹介、さらには会員企業様からのリクエストを受けての本校カウンセラーによる「新人・若手社員とのかかわり方・指導の方法」のセミナーと多岐にわたっておりました。今年度の秋には群嶺テクノ懇話会の役員の一部変更もあり、来年度以降の群嶺テクノセミナーのスタイルを大きく様変わりさせるべく、現在準備を進めております。学校のHP等を通じて改めてご案内させていただこうと思っておりますので、今後の群嶺テクノセミナーへも参加・聴講をよろしく願いいたします。

	セミナータイトル	講師	年月日
第163回	群馬高専 研究分科会の活動紹介 第3分科会「環境・エネルギー分科会」 および表面処理製品の障害解析事例	物質工学科教授 藤重 昌生 株式会社環境技研 常勤監査役 高村 実	5月17日
第164回	群馬高専 研究分科会の活動紹介 第4分科会「農業・農産分科会」	一般教科(自然)教授 宮越 俊一 機械工学科准教授 櫻本 弘 電子情報工学科准教授 市村 智康 物質工学科准教授 平 靖之 環境都市工学科教授 木村 清和 環境都市工学科准教授 宮里 直樹	6月14日
第165回	特別セミナー 群嶺テクノ企業と生産システム工学実験	部外秘	8月 6日
第166回	新任教員によるシーズ紹介 単分子スペクトロスコープと理論計算 による単一分子磁性の解明	電子メディア工学科助教 塚原 規志	10月18日
第167回	新人・若手社員とのかかわり方・指導の方法	マインド・サポート・プラス 公認心理師 内山 彰	12月13日

## スマート・サイエンス・スクール (SSS)

### スマート・サイエンス・スクール (SSS) もう一つの卒業式

物質工学科 教授 出口 米和

令和元年12月21日(土)に第7回SSS成果報告会・閉校式が無事に終了いたしました。

SSSも第7回を迎え、第1回のSSSに参加し、群馬高専へ入学してくれた受講生が令和2年3月にめでたく卒業という記念の年になりました。何かもう一つ卒業式があるような感じでタイトルを付けさせていただきました。

今回はこれまでのSSSを少し振り返ってみたいと思います。これまでのSSSで、2年間(2回)参加して下さったり、きょうだいで参加の受講生、SSSから本校へ入学して下さる受講生も増えて来ました。最近のSSSでは、かつてのSSS受講生がサポート学生として、熱心に中学生の指導に関わってくれています。約半年間をかけてじっくりと実施するSSSの良い面が発揮されていると感じています。これからもSSSを発展的に継続して行こうと考えております。

最後になりましたが、これまでSSSを実施するにあたりましてテーマをご提案いただき、受講生をご指導いただきました教職員、サポートの本校在生、後援会をはじめ関係者の方々にこの場をお借りしてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。また、今後ともよろしく願い申し上げます。



第7回SSS成果報告会・閉校式

## 英語で専門分野の授業を聴く!!

物質工学科 教授 太田 道也

長岡技科大との連携教育プログラムの令和2年度実施に向けて、グローバル教育に対応すべく3回にわたって「英語で専門分野の授業を聴く!!」を開催しました。この授業は、国内の大学・研究所等で研究に従事されている外国人研究者に英語で授業をして頂くものです。本校の学生が勉強している専門分野を英語で直接聴くことで、現象に関する言い回しなどについて実感して頂くことが狙いです。授業内容は連携教育プログラム進学者、専攻科生、4・5年生向けですので専門分野が異なると用語が難しくなりますが、参加者は毎回60名近くあり、授業後には学生から英語で質問が来ました。3名の講師はいずれも群馬高専の学生が大学生よりも熱心で英語の質問もすばらしいと評価してくれています。来年度も来て授業をすると約束してくれました。就職後も、大学や大学院進学後も英語は欠かせないコミュニケーションツールです。来年度も実施しますので、ぜひ参加して下さい。講師・題目などを以下にまとめます。実施に当たり、多くの方々大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

第1回(令和元年11月15日):長岡技科大・院 Siriporn Taokaew助教、  
題目: Bacterial Cellulose - The biosynthesized nanocellulose polymer by bacteria -、分野: 物質系

第2回(令和元年12月20日):芝浦工業大学大学院 Izabela Rzeznicka教授、  
題目: From three-way catalysts to electric vehicles. Environmental catalysis and story of adaptation、分野: 環境、物質、機械、電気系

第3回(令和2年1月31日):埼玉大学大学院 Alexandre Loukanov准教授、  
題目: NANOTECH: The Future of Technology、分野: 機械・電気・電子・物質・生物・環境系



第1回



第2回



第3回

## ひらめき☆ときめきサイエンス

### 3Dプリンタを使ってプレス成形できるかな! を実施して

機械工学科 教授 黒瀬 雅詞

令和元年11月17日(日)に令和元年度(ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI)事業を実施しました。文字通り、3Dプリンタを使ってプレス成形するもので、機械工学科の設備を使って、3DCADとプレス実験をしてもらいました。

講義もあり、金型のしくみと金型で製品を作るための方法や金型の種類、プレス金型の技術の高さと注意点を説明してから、3Dプリント体験で17色から好きな色を選んで自分のオリジナル型を作製してもらい、補助学生の協力のもと造形してもらいました。試行錯誤を繰り返しながらプレスできる形状に調整していき、完成したら実験室の材料試験機を使って自分で成形してもらいました。時間はかかりましたが、楽しさと難しさを体験してくれたと思います。



### 目に見えない小さな分子の動きをコンピュータで見よう

機械工学科 准教授 矢口 久雄

日本学術振興会の「ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~ KAKENHI」に昨年度に続いて採択され、令和元年12月26日(木)に体験学習イベント「目に見えない小さな分子の動きをコンピュータで見よう」を開催しました。

分子動力学シミュレーションによって様々な現象を分子レベルから理解するアクティブ・ラーニングに加えて、風洞実験による流れの可視化や金属蒸発を利用したレーザ加工などの体験学習を実施しました。今回も研究室の学生たちや教育研究支援センターの浅見様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

本イベントは「科研費」による研究成果を社会に還元する目的で実施されるもので、入試PRとは趣旨が根本的に異なります。しかし、実際のところ、高専の研究や教育を一般の方々にも知っていただく良い機会にもなっており、一定のPR効果はあったと考えております。昨年度と同様に参加者からも概ね好評で、なかなかの手応えを感じているところです。





第63回日本学生科学賞 群馬県審査最優秀賞受賞  
中央審査 入選3等受賞

日本学生科学賞の受賞

理科部 3K 大嶋 慧

私たち理科部化学班はこの1年間アルミニウムとカルシウムを用いた水素発生の研究を行ってきており、研究成果をまとめて日本学生科学賞に応募し、群馬県最優秀賞と、中央最終審査にて入賞3等を受賞することができました。

実験は失敗してデータが取れなかったり、思っていたような結果が得られない事も多かったですが、部員の皆の協力を得て、実験方法について試行錯誤を繰り返したり、仮説を修正しながら進めていく中で、実際の研究の進め方や未解明のことを明らかにしていく面白さ、グループワークの重要性など多くのことを学ぶことができ、非常に貴重な経験になりました。部員の皆さん、機会を下さった先生方、本当にありがとうございました。



サイエンスキャッスル2019関東大会 優秀賞受賞

研究発表を終えて

理科部 3K 白崎 圭祐

12月21、22日に開催されたサイエンスキャッスル関東大会にて、口頭発表及びHonda賞(研究助成)の成果発表をさせて頂きました。口頭発表では際立ってすごい賞を取ることは出来ませんでした。初めて大勢の前で研究発表をしたことや、他の方々の発表であまりなじみのなかった生物系の研究に多く触れられたことはとても新鮮な体験になりました。Honda賞の成果発表は私達の他にも水素をテーマとした研究が多く発表され、水素一つをとっても様々な発想の研究があるということが実際に感じられました。

最後に、3年生はこの発表をもって引退となるので、この場を借りて研究を行うにあたってお世話になった方々に深く感謝申し上げます。



ゴム動力自動車コンテスト 優勝

集大成

専攻科生産システム工学専攻 2年 新井 将典

エコパワー愛好会のOBを中心に結成された我々のチームは、昨年開催された「TSK キッズ広場 2019 with ゴム動力自動車コンテスト」に出場し、優勝を収めた。愛好会では数年前からこの大会へ出場しているが、私に関わるのは初出場した2015年以来2回目である。当時は完走すらできなかったということもあり、今回の結果は、この上なく嬉しいものであった。

今回、OBチームは、高専最後の思い出づくりを目的に気楽に始動した。ところが、次第に勝利への思いが増し、設計・製作時には、各々がエコパやロボ研での活動を通じて養った、ものづくりの感覚が存分に投入された。

活動の多くは愛好会チームと共にいき、なかでも、優勝決定の瞬間は皆で一緒に盛り上がったことを覚えている。ものづくりが生み出す喜びの共有により、現役の方々へならかの良い影響を与えられていたら幸いである。



4th STI-Gigaku 2019 Best Poster Award 受賞

Happy news !

専攻科環境工学専攻 1年 栗原 花怜

STI-Gigakuという国際会議にて、特別研究の成果を発表し Best Postr Awardを受賞することができました。著名な賞をいただき、大変嬉しく思います。この会議は、国連の「17の持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を目的に、国内外の学校や企業などの機関との連携により、研究成果を発信・共有し、教育の展開、国際的ネットワークの形成に取り組むためのものです。目標には、貧困や飢餓の問題、経済成長、気候変動等の世界が抱える課題の解決が挙げられます。

私は「Analysis of free-living nematodes in Chinese yam farm with the soil improvement material」という題で、未利用バイオマスの利用促進について、農業不使用農業実現化における線虫の遺伝子解析についての研究成果を発表しました。英語での受け答えは緊張しましたが、様々な国の方と意見を交換する良い機会となりました。多くの方々から意見をいただいたことで新たな課題も生まれたため、より一層努力して研究に取り組み、SDGsに準じた社会貢献をしたいと思いました。



## ドキュメンタリー短編映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ採掘現場の声～」映画感想文コンクール

### 学校賞受賞

みんなで知ってみんなで考えよう! 学校賞おめでとう!

一般教科 (自然科学) 講師 清水 理佳

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピースさんが主催の映画感想文コンクールに2年2組と2年5組でホームルームを利用して応募しました。アフリカのシエラレオネでのダイヤモンド採掘現場に関する映画で、問題が山積みの現状に解決策が見つからないもどかしさが残る映画でした。世界にはこんなに難しい問題があるということや、学校に行ける日を夢見て過酷な労働をしている子どもたちがいること等を映像で目の当たりにし、みんなで色々なことを考えて、さらに調べたりもして、その思いを文章にしました。その結果、なんと群馬高専が学校賞に選ばれました! みんなの作文には、自分にはどうすることもできないといったことが多く書かれていましたが、みんなで問題について知り、みんなで考えたことに大きな意味があったのだと思います。



### 高校生部門 優秀賞受賞

「ダイヤモンドの来た道」を見て

2年5組 (K) 吉田 智咲

ダイヤモンドと聞いて、それを身に付けた人々をイメージしましたが、高価なダイヤモンドの裏側には、人権問題、児童の労働問題、環境、生態系問題、紛争問題などの問題が潜んでいました。これらは全てフェアな取引で解決されますが、現状では解決されておらず、深刻化しています。

この映画を見て、子供に正当な賃金が支払われずに貧困の中で重労働している事実にはショックを受けました。日本には、正当なお金を払うなどルールがあり、私達は守られて働いています。しかし、シエラレオネではルールがなく、ほぼ無法地帯です。日本なら労働者が拒めますが、この人々には不当な働き口、支払いを拒む選択肢すらないのです。

私達には直接的な支援は出来ませんが、支援活動をする人々を、現状や問題を多くの人に伝えて応援することは出来ます。まず、知ってもらうことが何よりも大切なのです。

今後、私達が世間に伝えることでダイヤモンドがフェアに取引され、労働問題が改善されることを願っています。

### クイズ研究会 エコノミクス甲子園群馬大会 3位

#### クイズ研究会の最初の活動報告

～エコノミクス甲子園群馬大会で第3位～

2年1組 (E) 坂上 文太

2年2組 (E) 高橋 陽太

今年度の初めにクイズ研究会が発足し、本格的に活動がはじまりました。12月には「第14回エコノミクス甲子園」の群馬大会に出場しました。決勝ラウンドに進み、「バブル崩壊に備えよ」というテーマのもとクイズに参戦し、途中までは私たちのチームが圧倒していたのですが最後の最後に逆転されてしまい、私たちは3位となりました。全国大会への切符がもう目と鼻の先にあっただけに、少し悔しさの残る大会となりました。来年こそは優勝して全国大会に行きたいと強く思っています。今までで一番楽しんでクイズができた、そんな大会でした。



### 日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会

#### 「優秀ポスター賞」受賞

『優秀ポスター賞を受賞して』

専攻科環境工学専攻 1年 石川 真菜

日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会に参加し、本科のときから継続している研究についてポスター発表しました。私は、「廃ガラス粉末を用いた青色蛍光体の合成と特性評価」という研究テーマで1年間研究をしてきました。実験では目的のものが合成出来なくてなぜだろうと悩むことも多いですが、研究室の仲間と楽しく研究することができています。今回の学会には、大学生や大学院生も参加していました。他大学の学生の研究発表を聞いて、実験手法や特性評価などいろいろなことを学ぶことができました。今回の学会を通して、人前で発表する良い機会になりました。



## 令和元年度 学生表彰者一覧

## 1. 学業成績優秀賞(本科卒業生)

氏名	学科名
菊池 啓亮	機械工学科
赤見坂 篤記	電子メディア工学科
高橋 響熙	電子情報工学科
上遠野 佑紀	物質工学科
小林 彦蔵	環境都市工学科

## 2. 課外活動功労賞

氏名	クラス	対象事項
福嶋 望夏	5K	女子寮長、理科部 副部長
久保田 直生	5C	硬式野球部 高校野球監督
齋藤 環希	5E	硬式野球部 女子マネージャー
阿久戸 太陽	5C	サッカー部 主将
登坂 成葉	5C	サッカー部 主務
古崎 翔大	5E	男子バレーボール部 部長
公家 玲亜	5K	男子バレーボール部 キャプテン
石川 裕唯	5C	女子バレーボール部 部長
安井 晃美	5K	女子バレーボール部 キャプテン
堀 蓮	5C	ソフトテニス部 部長
井坂 美空	5K	ソフトテニス部 女子代表
小淵 晴仁	5K	卓球部 部長
小野塚 隆太	5M	柔道部 部長
佐藤 友紀	5C	剣道部 部長
篠原 愛	5K	剣道部 女子代表
柳沼 謙伸	5C	テニス部 部長
渡邊 武海	5K	バドミントン部 部長
菅原 奈々子	5M	バドミントン部 女子代表
石村 飛翔	5E	水泳部 部長
西田 まなみ	5K	吹奏楽部 部長
新井 千媛	5K	吹奏楽部 指揮者
佐藤 朋貴	5K	理科部 部長
成川 加維	5J	電算部 部長
宇佐美 岳竜	5M	茶道部 部長
平田 共生	5M	エコノパワー愛好会 代表
齋藤 深太	5C	構造デザイン研究会 代表

## 4. 卒業研究優秀賞

氏名	学科名	研究題目
清水 翔也	機械工学科	実験計画法による最適切削条件の決定と評価
大河原 礼王	電子メディア工学科	コンクリートレグ用パルス発生器の検討と開発
荒井 智貴	電子情報工学科	デジタル通信システムにおける高効率・高出力電力増幅器の特性評価
篠原 愛	物質工学科	多孔質炭素複合体の作製
阿久戸 太陽	環境都市工学科	底泥による発電可能性について

## 3. 特別功労賞

氏名	クラス	クラブ名	対象事項
黒岩 航舜	4E	陸上競技部	令和元年度全国高専体育大会 陸上競技 男子3000mSC 2位、男子5000m 3位
須田 陸斗	5M	硬式野球部	令和元年度関東信越地区高専体育大会 野球競技 優勝
武藤 大和	5M		
南雲 勇人	5E		
齋藤 環希	5E		
久保田 直生	5C		
簾 澄和	4M		
石川 竜平	4E		
佐藤 大輔	4E		
船津 望光	4E		
小澤 勇希	4K		
黒岩 駿平	4C	ソフトテニス部	令和元年度関東信越地区高専体育大会 ソフトテニス競技 男子団体 優勝
都築 直仁	4C		
入澤 宏太郎	5M		
池本 敦哉	5C		
堀 蓮	5C		
川原 碧生	4C		
横澤 遥樹	2-1(C)		
青木 光星	2-5(E)		
鈴木 優斗	1-1(C)		
小林 寛弥	1-2(J)		
佐藤 友紀	5C	剣道部	令和元年度全国高専体育大会 剣道競技 男子団体 3位 令和元年度関東信越地区高専体育大会 剣道競技 男子団体 優勝 令和元年度全国高専体育大会 剣道競技 男子団体 3位 令和元年度関東信越地区高専体育大会 剣道競技 男子団体 優勝
平野 克	4C		
石井 裕樹	4C		
沼尻 大空	4K		
井原 啓賀	4C		
野島 瑠空	3M		
鈴木 来威	1-4(M)		
土屋 奏人	3M		
乾 祥太郎	1-5(C)		
柳沼 謙伸	5C		
細川 裕紀	4C		
服部 世那	2-2(C)		
大隅 敬士	2-1(J)		
徳留 歩夢	1-3(M)		
三木 大暉	2-4(E)		
坂本 啓輔	2-1(J)		
内海 咲紀	1-1(K)		
服部 亜美	4C		
重田 みゆ	3C	水泳部	令和元年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 女子50m自由形 1位 女子100m(タフライ)1位 女子100m(タフライ)2位 令和元年度全国高専体育大会 水泳競技 女子100m(タフライ)2位
伊与久 鈴音	3K		
大嶋 慧	3K	理科部	サイエンスキャッスル研究費2019 Honda賞 採択 サイエンスキャッスル2019関東大会 優秀賞 第63回日本学生科学賞 群馬県審査 最優秀賞 第63回日本学生科学賞 中央審査 入選3等
大嶋 詩響	3K		
柴川 和之	3K		
白崎 圭祐	3K		
大久保 拓哉	4J		
清水 怜央	4J	TUT-HIMIKAI AI Trial 2019 ~プログラミングコンテスト for IT 農業~ 1位	

## 5. その他(学会からの表彰等)

氏名	クラス	対象事項
手嶋 勇太	5M	日本機械学会 島山賞
川合 祥紀	5K	日本化学会関東支部 支部長賞
齋藤 深太	5C	全国高専士木工学会 近藤賞

## 特集

## 田村泰一先生が群馬高専に残した文字 その3

一般教科（人文科学）教授 櫻岡 広

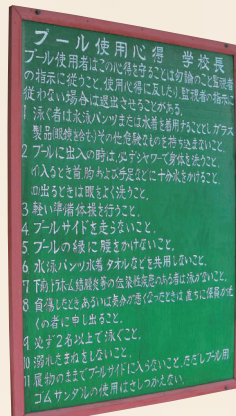
「田村先生の残した文字」は今回が最終回となります。今回は風雨・紫外線にさらされ続けても残っている木製の看板です。30年以上残っていることに驚きです。



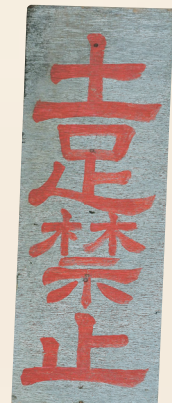
各部活等の看板



西湖に残る注意書き



プールの注意事項



第二体育館に残る看板

## 新任者紹介(事務職員)

★採用年月日

□ 西村 彩果

(総務課財務係長)

★令和2年1月1日

□ 鈴木 伸一

(学生課長)

★令和2年1月1日

□ 南野 健

(学生課学生支援係主任)

★令和2年2月1日

## 離任者紹介(事務職員)

★転出年月

□ 岡 寿実枝

(総務課財務係長)

★令和元年12月31日

□ 佐藤 薫

(学生課学生支援係主任)

★令和2年1月31日

## 編集後記

今年は暖冬で雪が少なく、春の訪れも早まりそうです。卒業生・修了生のみなさんにとって、青春時代を過ごした学び舎からの旅立ちの時となりました。みなさんと過ごした日々を振り返ると感慨深いものがあります。学びの集大成である卒業研究発表会の日、スーツ姿の5年生・専攻科生の表情に、緊張感とともに自信を感じました。高専で培った専門や教養を基礎とし、得意なことを増やして成長し続けてください。人生100年をどう生きるかがこれからの課題です。卒業後も仲間との絆が、人生の大きな助けになると確信しています。編集では総務課の高橋さんに大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。(学校広報担当 大和田 恭子)